

2025年度

# なごや環境大学 活動報告書

2025.4-2026.3





## 目次

はじめに.....	P1
学長挨拶.....	P2
なごや環境大学って何？.....	P3
開学以降の講座等実績の推移と 2026 年度への展望 .....	P5
2025 年度の振り返りと次年度への展望～アンケート結果から～.....	P7
共育講座・共育ゼミナール.....	P10
2025 年度共育講座一覧（前期） .....	P11
2025 年度共育講座一覧（後期） .....	P13
2025 年度実行委員会主催事業・連携講座の一覧.....	P15
2025 年度事業報告.....	P17
持続可能な社会づくり～SDGs の達成を目指して～ .....	P21
なごや環境大学の歩み.....	P26
なごや環境大学運営協力者一覧.....	P31
2025 年度「なごや環境大学」実行委員会名簿.....	P32

なごや環境大学は、パートナーシップを軸に SDGs の達成を目指します。



SDGs とは「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略称です。

## はじめに



なごや環境大学は、分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民が「共に育つ（共育）」ことを目的とし、2005年に開学し、昨年3月で開学20周年を迎えました。現在では、持続可能な社会の担い手づくりの先進的事例として、広くその名を知られるようになり、なごや環境大学の取り組みが全国的に評価されていることをうれしく思います。

これもひとえに、これまでご尽力いただいた関係者の皆様や市民の皆様のおかげであり、心より感謝いたします。

なごや環境大学では、2022年12月に学長にご就任いただいた、水野明久学長のもとで、様々な事業を検討・展開しています。

2025年度は、開学20周年の記念イベントとして、ラムサール条約湿地都市認証記念シンポジウムや、「みんなでつくるなごやの未来」と題したパーティーを開催し、大勢の方にご参加いただきました。多様な主体と20年を振り返り、今後のなごや環境大学に新しい発想をもたらす貴重な機会になったと考えております。

名古屋市では、今年の3月に「なごや環境学習プラン2030」を策定し、多様な主体と連携・協働のもと、環境学習を進めていくための2030年度までの具体的な施策をとりまとめました。プランの中では、人材育成の推進や環境学習の拠点・ネットワークの強化をはかる施策として、なごや環境大学の事業も多く位置付けられています。

「共に育つ（共育）」を目的とし、様々な環境事業を実践するなごや環境大学の役割は益々高まっています。今年度はなごや環境大学の第4期ビジョンの最終年にあたり、これまでの取り組みを振り返りつつ、新たな動向も踏まえて、次期ビジョンを策定する予定です。持続可能な社会の担い手づくりのため、引き続き様々な取り組みを進めてまいります。

今後とも、なごや環境大学を支えていただいている実行委員会をはじめとする皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

「なごや環境大学」実行委員会 名誉委員長  
名古屋市長 広沢 一郎



## 学長メッセージ

### ～ 20周年の歩みを礎に、未来を拓くために ～



なごや環境大学 学長の水野明久です。

20周年という節目を越え、次の時代へ踏み出す「なごや環境大学」から、皆さまへご挨拶申し上げます。

2005年の開学以来、市民・市民団体、企業、教育機関、行政など、多様な立場の皆さまが力を寄せ合い、知識や経験、そして思いを持ち寄って学び合う場を築いてまいりました。こうした開かれたネットワーク型の環境学習の取組みは全国的にも稀有であり、私たちの誇りです。

その原点には、1999年の「ごみ非常事態宣言」があります。市民の環境意識が大きく高まる中、「環境」という普遍的なテーマのもと、持続可能な社会に向けて歩みを進めてきました。

昨年3月には20周年を迎えました。

数多くの記念事業の中でも、特に印象深かったのが、昨年9月の「なごや環境大学20周年&ラムサール条約湿地都市認証記念シンポジウム」で紹介された「ユース提案型湿地の未来プロジェクト」です。

湿地都市認証を契機に始まったこのプロジェクトでは、高校生・大学生が主体となり、市内にあるさまざまな湿地の見学、藤前干潟での探究活動を通じて湿地保全の課題を整理し、今後の社会実験を経て市内の多様な湿地の保全を推進していきます。

なごやの湿地の未来を考えると、若い世代の感性と行動力は、これからの環境政策を形づくる“原動力”です。彼らが持つ柔軟な発想、現場で感じ取るリアリティ、そして未来を自分ごととして捉える姿勢は、私たち大人が決して代わりに担うことのできない価値を生み出します。

私は、若い皆さんがこのプロジェクトを通じて、行政や企業に遠慮なく提案し、社会に新しい視点を投げかけてくれることを強く期待しています。

そして、なごや環境大学・行政・企業がこれまで以上に連携し、そこに若い力が加わることで、これまで想像し得なかった展開が生まれると確信しています。

なごや環境大学は、20周年の歩みを礎に、未来を見据えて進んでまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「なごや環境大学」学長

水野 明久

# なごや環境大学って何？

市民 / 市民団体 (NPO/NGO) ・ 企業 ・ 教育機関 ・ 行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄って学び合うネットワークです。

子どもから大人まで、どなたでも参加できます。

## 目的

「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目的としています。

## 入学資格

〈エコ・ゴコロ〉だけです。

環境に関心のある、すべての人を歓迎します。子どもから大人まで、「環境問題はむずかしそうだ」という人も、「活動の輪を広げたい」という人も参加できます。

## 内容

### 協働による講座・ゼミナールなどの運営

#### 学ぶ！ 講座に参加する

楽しみながら学べる講座を多数ご用意しています。



#### 動かす！ ゼミナールで活動する

「なごやをもっとエコに！」と、さまざまな団体が活躍中！  
仲間と一緒に、新しいことにチャレンジしてみませんか？



#### 発信する！ 企画・運営する

あなたも、何か企画してみませんか？ 毎年6月と11月に 講座・ゼミナール (ゼミナールは11月のみ) の募集を行っています。  
初心者の方も、歓迎です。

※これまでの募集要項は常時ウェブサイトでご覧いただけます。

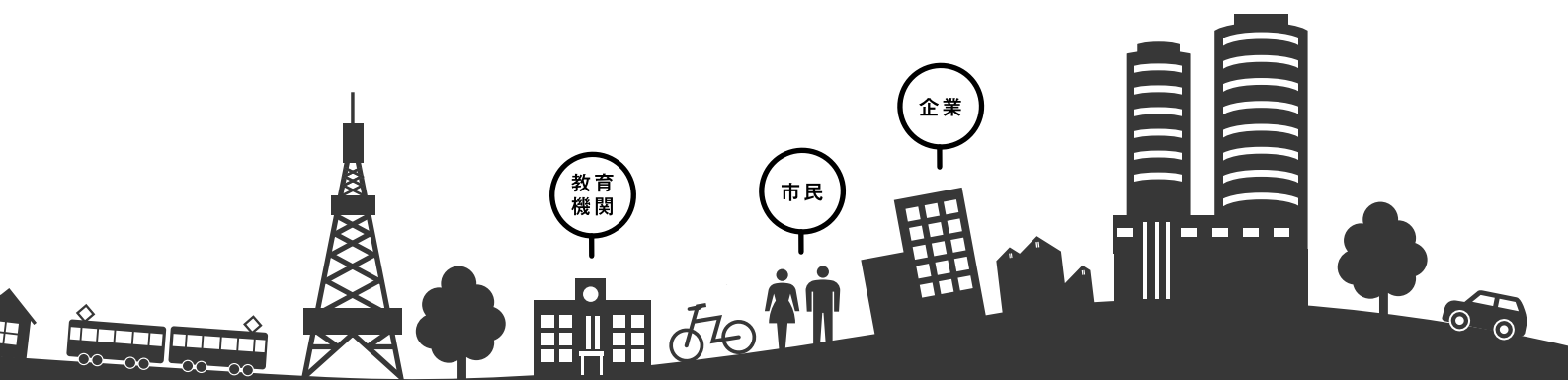


つながるエコ ひろがるハッピー!

## まちじゅうがキャンパス

里山や水辺…教室や工場も…どこでも実施!

詳しくはHPをチェック! <https://www.n-kd.jp/>



### ネットワークづくり

ひとつひとつ、団体と企業、行政や教育機関などそれぞれの得意分野や持ち味を活かし、大きな成功へと導く関係づくりを行います。

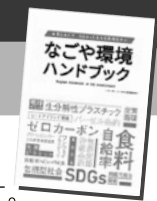
また、市民参画のプロジェクトによって、ひとつひとつをつなぎ、ムーブメントをつくりだします。異なる分野のひとの出会いの場を提供し、ひとの輪を広げます。

### 情報発信

多種多様な講座を紹介したガイドブックを年2回発行しています。

また、地球環境から身近な環境まで分かりやすくまとめた「なごや環境ハンドブック」を発行しています。

たくさんのひとが利用するソーシャルメディアやホームページ、大勢のひとが集うイベントなどを通じて誰もが参加、参画できる情報を発信しています。



### サポート／コーディネート

ネットワークを活かし、企業や行政、教育機関などのESD<sup>\*1</sup>活動（学習プログラム・研修プログラム・CSR<sup>\*2</sup>プログラム）の支援、関連団体などとの橋渡しを行います。

※1 ESD=Education for Sustainable Development の略 持続可能な社会を支える担い手づくり

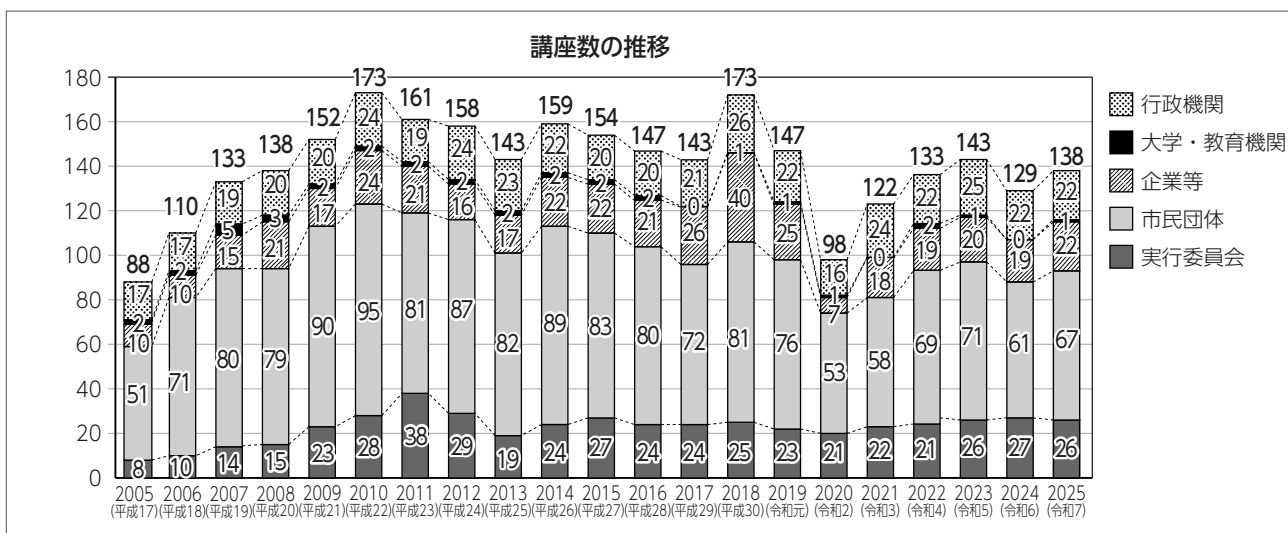
※2 CSR=Corporate Social Responsibility の略 企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動

# なごや環境大学 開学以降の講座等実績の推移と 2026年度への展望

## ■講座等実績の推移

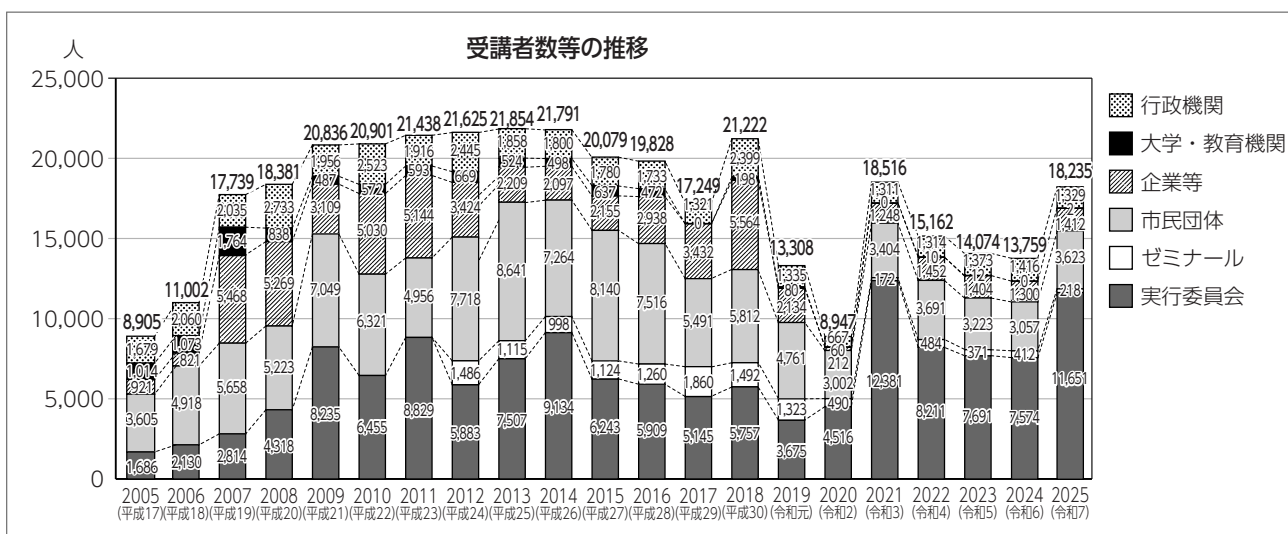
### 1. 講座数の推移

「なごや環境大学」実行委員会及び各企画団体が実施した2025年度の講座数は138講座で、前年度より増加しました。



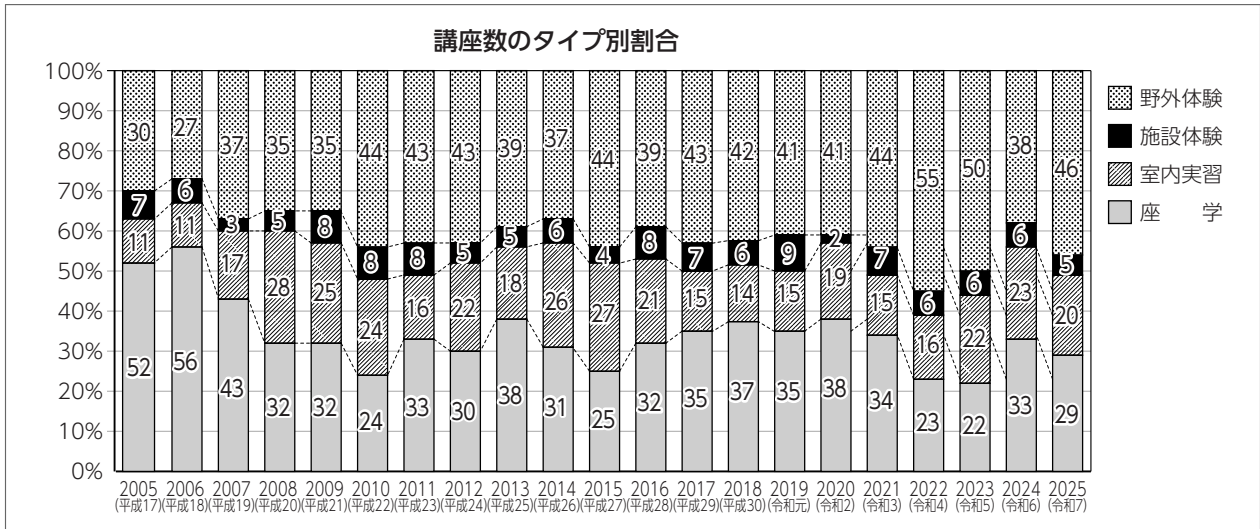
### 2. 受講者数等の推移

2025年度の受講者数は18,235人、企画団体別の内訳では、実行委員会主催が半数以上となっています。

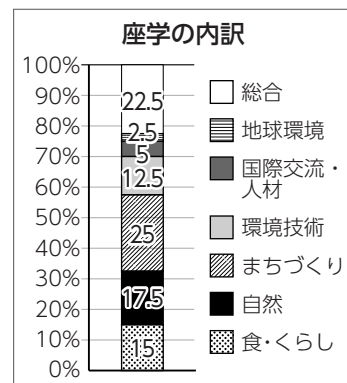
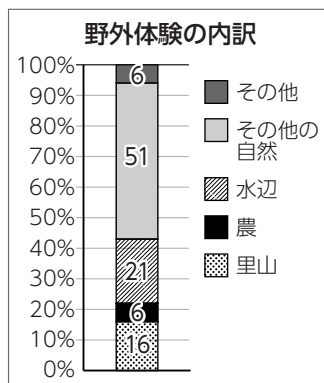


### 3. 講座数のタイプ別割合の推移

開学当初は座学が5割以上を占めていましたが、現在では座学は2～3割程度で、野外体験、施設体験、屋内実習などの「体験・実習型講座」が主流です。



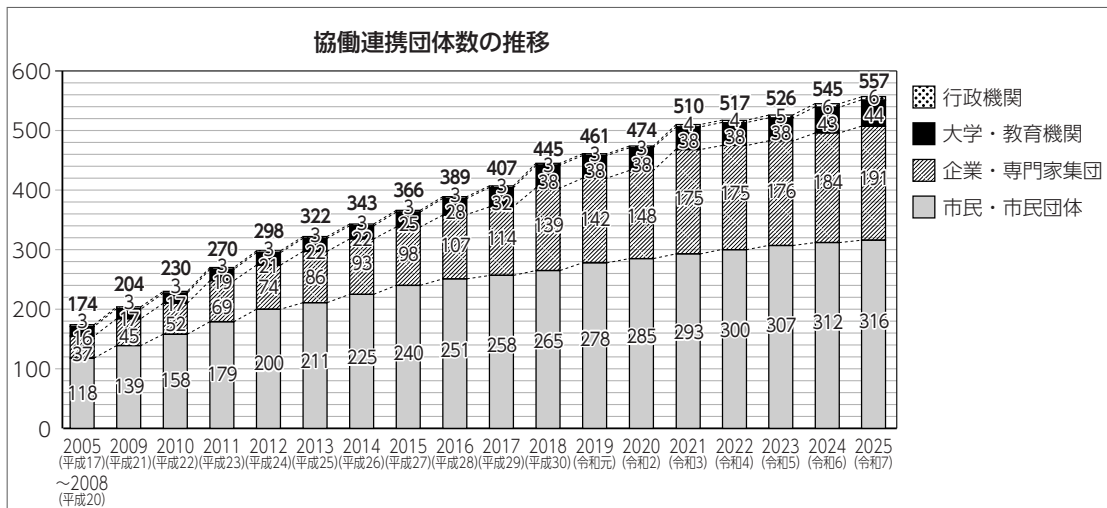
講座数のタイプ別割合は、野外体験が46%と最も高く、その内訳は、里山や農、水辺、その他の自然など、多岐にわたります。次に多い座学の内訳も、食・くらし、自然、まちづくり、環境技術、国際交流・人材、地球環境と広範囲です。



### 4. なごや環境大学を支える仲間たちの推移（累計）

なごや環境大学を支える講座企画団体や協働連携団体の累計は、2025年度で557団体となり、開学当時の3倍以上になりました。

なごや環境大学は多くの仲間たちによって支えられています。



# ■なごや環境大学 2025 年度の振り返りと次年度への展望

～なごや環境大学受講者及び  
講座主催団体へのアンケート結果から～

事務局長 市橋 和宜

2025 年度に実施した各種講座及び小学生向け講座の受講者、講座企画者を対象としたアンケート結果から、なごや環境大学の活動の振り返りを行いました。

## 1. 各種講座受講者に関する集計結果

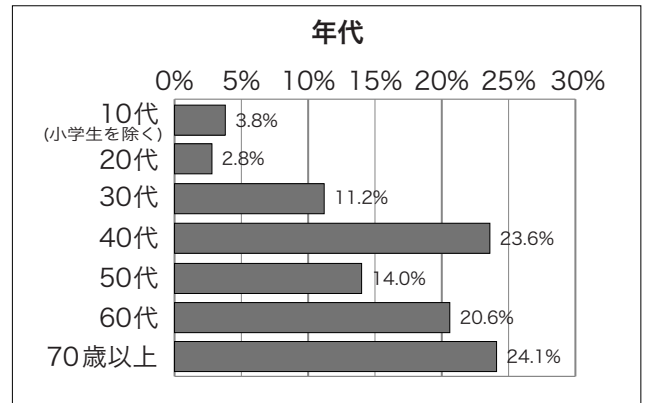
2025 年度に実施した講座の受講者の中から、小学生を除いて延べ 3,268 名のアンケート回答をいただきました。なお、それぞれの設問は、有効回答のみを集計しています。

### ●年齢

受講者の年代は「70 代以上」が 24.1%、「40 代」が 23.6% とほぼ同じに高く、次いで「60 代」が 20.6%、「50 代」14.0%、「30 代」11.2% と続きます。

一方、「小学生を除く 10 代」3.8%、「20 代」2.8% と若い世代の比率が低くなっています。

今後は、未来を担う 10 代、20 代を中心とした若い世代の興味・関心を探りつつ、環境課題解決に参画できるような次世代育成のための事業を検討していく必要があります。



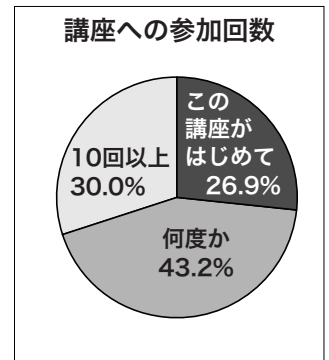
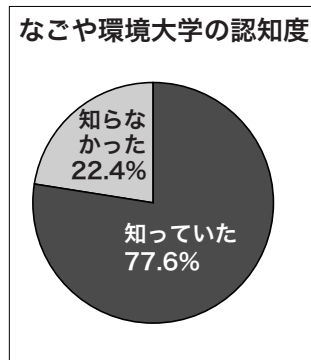
### ●在住・在勤地

受講者の在住・在勤地は名古屋市内 71.6%、愛知県内を含めると 93.8% でした。

### ●認知度と受講経験

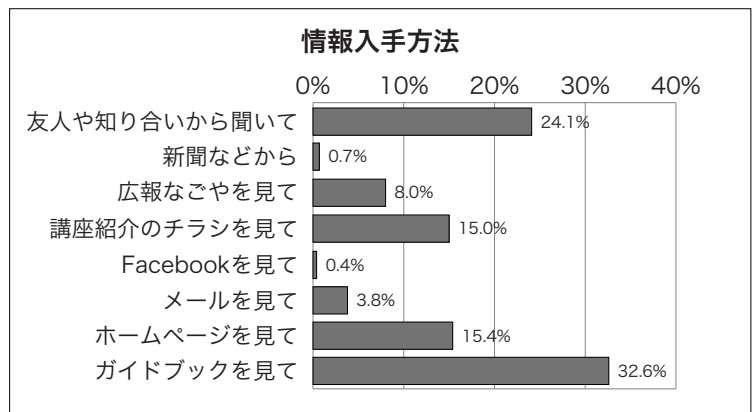
なごや環境大学の認知度について、受講者の 22.4% が「知らなかった」と回答しています。この比率は 2024 年度と比較して 1.3 ポイント増加しており、認知度向上に取り組む必要があります。また、新規受講者である「初めて受講した」方は 26.9% と、一定割合の新規層への広がりが感じられます。

今後は、講座の開催形態が、従来の対面に加えオンラインによる開催など多様な形態が展開されていきます。これを踏まえ、若者を中心とした新規受講者にとって参加しやすく、また同時にリピーターも継続して参加しやすくなるような講座の開設などに取り組む必要があると考えられます。



### ●情報入手方法

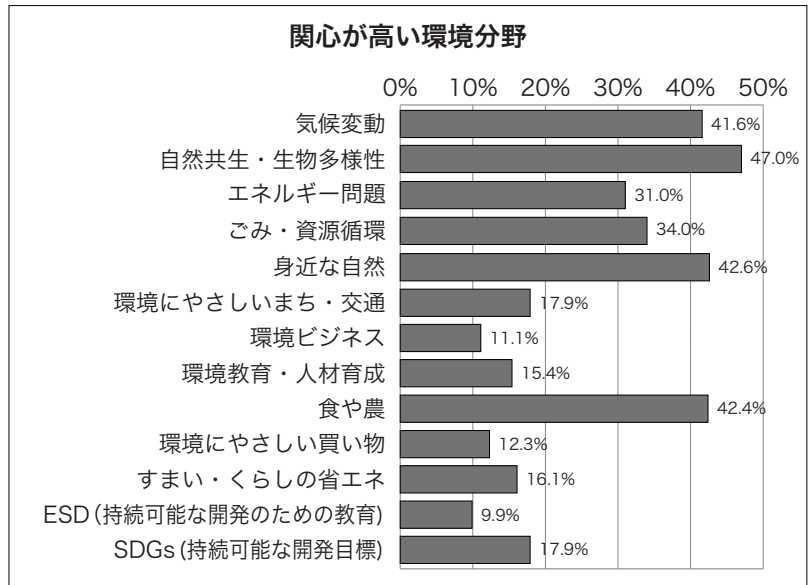
講座情報の入手については、「なごや環境大学のガイドブックを見て」が 32.6%、「友人や知り合いから聞いて」という口コミが 24.1% となっており、合わせて半分以上を占めています。以下「ホームページを見て」が 15.4%、「講座紹介のチラシを見て」が 15.0% と続きます。これは、情報量の豊富なガイドブックや従前からの知人の口コミが、依然として講座に参加を促す強力なツールとなっていることを改めて認識させられます。一方、若い世代や新規受講者を増やすためには、ウェブコンテンツについて内容構成をより分かりやすく改善するとともに、SNS を活用してスマートフォンやタブレットなどから手軽に入手できる情報の充実などに取り組んでいく必要があります。



### ●関心が高い分野

関心が高い分野としては、「自然共生・生物多様性」が47.0%と最も高く、続いて「身近な自然」42.6%、「食や農」42.4%、「気候変動」41.6%、「ごみ・資源循環」34.0%、「エネルギー問題」が31.0%といずれも3割以上を占めました。

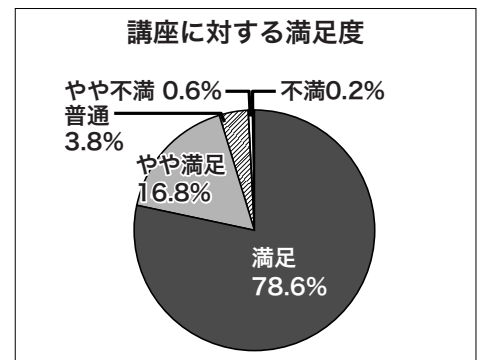
「自然共生・生物多様性」「身近な自然」等は従来から関心が高い傾向にあります。世界的に取り組まれている「SDGs（持続可能な開発目標）」や私たちの生活に直接結びつく「環境にやさしい買い物」「すまい・くらしの省エネ」は低い傾向にあり、関心を高める工夫が必要です。



### ●講座に対する満足度

講座に対する満足度は「満足」、「やや満足」を合わせて9割を超える高い評価をいただきました。

2025年度は、関心が高い分野を中心とした講座が参加者のニーズに合致し、講座企画団体の皆様の努力や工夫が反映された結果になったものと思われます。

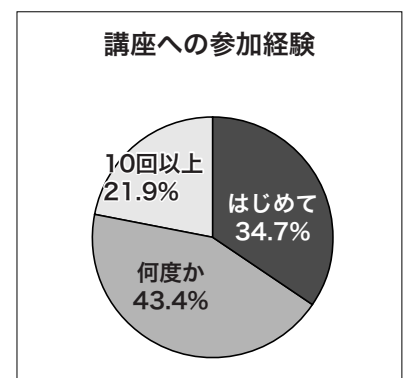


## 2. 小学生向け講座に関する集計結果

小学生の受講者 774 人に対するアンケートによると、受講者の 96.5% が名古屋市内・愛知県内でした。初めて講座に参加した子どもが 34.7%、「何度か」、「10 回以上」参加している子どもは合わせて 65.3% と、6 割以上がリピート参加していることがわかります。

講座の内容については、「楽しかった」と感じた子どもが全体の 94.7% と非常に高いことが特徴的です。また、「わかりやすさ」についての評価も 89.0%、「また参加したいかな?」についても、○(したい) が 91.9% と、全体として講座に非常に満足して、また参加したいと思っています。

内容について	○	△	×
楽しかったかな?	94.7%	4.4%	0.9%
わかりやすかったかな?	89.0%	7.8%	3.2%
また参加したいかな?	91.9%	6.4%	1.7%



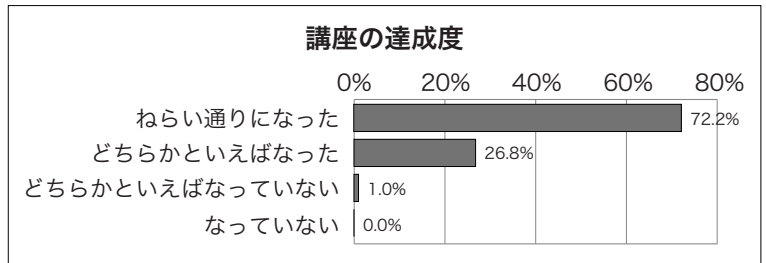
### 3. 講座主催団体に対するアンケートの集計結果

なごや環境大学の共育講座を企画運営していただいている市民団体や企業、行政などの講座主催団体からもアンケートをいただいています。

#### ● 講座の達成度

講座の達成度については、企画団体の「ねらい通りになった」、「どちらかといえばなった」を合わせて99%と、主催者としてほぼすべての団体が講座全体に満足していただきました。

このような結果は、企画者の皆様の努力と参加者の意識の高さが現れているものと思われます。



#### ● 講座の運営

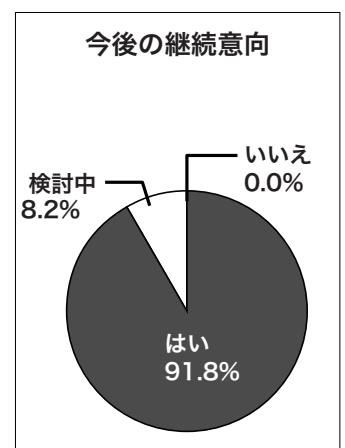
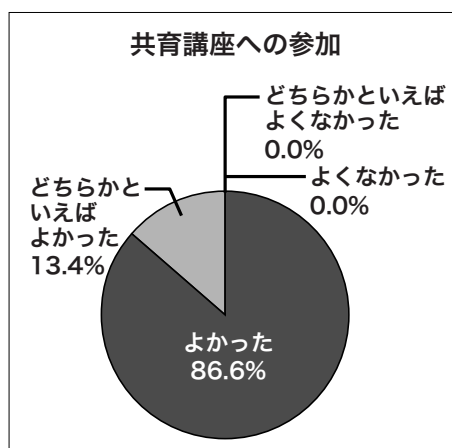
講座の運営に関して、表に示した9項目について、それぞれ4段階で自己評価していただきました。講座の時間配分、「内容」、「手法」、「会場」、「準備」の項目で「十分」「ほぼ十分」との回答を合わせて9割を超えていますが、「広報」、「参加者の人数」、「収入と収支のバランス」では「十分」「ほぼ十分」との回答を合わせて7～8割にとどまっています。

やや満足度の低いこの3項目は、講座直前のキャンセルなど、参加者の確保に苦慮する傾向がうかがえます。今後、よりいっそう広報に力を入れるとともに、講座企画者が運営しやすくなるよう、事務局のサポートを続けていきます。

	十分だった	ほぼ十分だった	少し足りなかった	足りなかった
①スタッフの人数	61.2%	25.5%	13.3%	0.0%
②講座の時間配分	67.3%	31.6%	1.0%	0.0%
③内容	74.5%	25.5%	0.0%	0.0%
④手法	67.3%	32.7%	0.0%	0.0%
⑤会場	69.7%	25.3%	5.1%	0.0%
⑥準備	66.3%	31.6%	2.0%	0.0%
⑦広報	45.9%	36.7%	16.3%	1.0%
⑧参加者の人数	35.7%	38.8%	22.4%	3.1%
⑨運営にかかわる収入と収支のバランス	42.7%	28.1%	23.6%	5.6%

#### ● 講座の改善・今後の展望

共育講座という参画の仕方については、すべての団体が「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答しており、この仕組みが重要な意義を持っていることが分かります。また、今後の継続意向についても、91.8%の団体が継続したいと回答していました。



#### ● まとめ

以上、2025年度の各種アンケート結果の集計からも、この間なごや環境大学が、NPO・市民団体、企業、行政、教育機関などと協働して役割分担している共育講座の仕組みは、受講者・講座主催団体のいずれからも概ね高い評価を得ていることが分かります。しかし同時に、若者を中心とした新規受講者にとって参加しやすく、またリピーターにも継続して参加したくなるような講座の開設に取り組む必要があります。また、「自然共生・生物多様性」、「身近な自然」、「食や農」、「気候変動」など受講者の興味や関心の高い講座の充実を図るとともに、講座企画者が運営しやすくなるよう事務局としてのサポートを続け、20周年からその先の将来を見据えて、なごや環境大学の活動をさらに発展させてまいります。



## ● 共育講座



名古屋市内および近隣地域をキャンパスとして、『共に学び合い』『育ち合う』環境講座を「共育講座」と表現し、展開しています。講座の企画・運営は、趣旨に賛同した市民/市民団体や企業、教育機関、そして行政などが行い、企画を持ち寄り、協働で運営しています。2025年度は、112の講座を開催しました。(主催事業を除く)各講座の詳細や団体情報については、「なごや環境大学エコパートナーズ」に掲載しています。

屋外(里山や水辺)も屋内(教室や工場)も「まちじゅうがキャンパス」です。

座学、フィールドワーク、討論、ワークショップ、調査・研究など様々な講座を実施しました。

## ● 共育ゼミナール



『共育ゼミナール』は、開校以来進めてきた受講生を招く『共育講座』の発展の形として、2012年度から開始しています。「行動しやすくなるしくみづくり」の一つとして、調査・研究、社会実験、提言とりまとめなどを行っています。2025年度は、3団体が年間を通じて活動しました。

団体名	東谷山ニホンミツバチの会
事業名	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査
活動の目的・概要	ニホンミツバチの自然繁殖条件の調査と自然繁殖による生物多様性の維持保全活動
団体名	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)
事業名	日本庭園と生物多様性
活動の目的・概要	立派な大自然ではない都市の小さな自然、それをどう評価しどうつきあえばイイの? …そんなギモンやモヤモヤを、スッキリさせたい!
団体名	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画
事業名	堀川最上流の自然環境を調べる!
活動の目的・概要	堀川最上流部の水辺環境とそこに生息する動植物の状況把握を目的とします。水質、水生動物、水草等の植物を調査します。

# 共育講座・ゼミナール一覧

2025年度(前期)

## 共育ゼミナール

市民・市民団体がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

## なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

## 市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。こどもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。

講座番号 B

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	16	Z-01	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査	東谷山ニホンミツバチの会				○	○
	17	Z-02	日本庭園と生物多様性	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
	17	Z-03	堀川最上流の自然環境を調べる!	川ナビ歩こう会/株式会社地域環境計画				○	○

① 脱炭素 (エネルギー・気候変動)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	18	B-01	こども科学者～気候変動の影響を実験で調べよう、考えよう～	唐草ナレッジ		○			
	19	C-01	高速道路が地球にやさしい秘密を知ろう!	中日本高速道路株式会社 名古屋支社	○	○	○	○	○
	19	C-02	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座	東邦ガス株式会社	○	○	○		

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	20	A-01	愛岐の里山たいけん隊	「なごや環境大学」実行委員会		○	○		
	21	A-02	山の社会見学	「なごや環境大学」実行委員会	○	○	○	○	○
	22	B-02	子どもも大人も樹木博士シリーズⅢ もりの樹木たちのふしぎ発見!!	あいち森林インストラクター会	○	○	○	○	○
	22	B-03	こども講座「森であそぼ!」～今年もやるぞ、むしっ子、あつまれ!～	NPO法人 海上の森の会	○	○			
	23	B-04	戸田川緑地の昆虫を調べよう	ピオトープ・ネットワーク中部	○				
	23	B-05	リトルアドベンチャー	りとるらぼ	○	○	○	○	○
	24	B-06	渥美の磯で珍しい生き物を探そう!	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊	○	○	○	○	○
	24	B-07	山崎川の生きもの観察会	山崎川グリーンマップ	○	○	○	○	○
	25	B-08	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
	25	B-09	地球探検隊 ～地球を感じよう～	地球倶楽部	○	○	○		
	26	B-10	もりもり「自然探検・大発見」	かすがい里山自然楽校	○		○	○	○
	26	B-12	劇団シンデレラと藤前干潟を体感しよう!	劇団シンデレラ	○	○	○	○	○
	27	B-11	「ゆるり時間」まちなかでゆっくり自然を楽しもう	ひこばえ社中					○
	28	B-13	のぞいてみよう! 水の中の小さな生き物たちの世界	名東自然倶楽部(自然観察グループ)	○				
	28	B-14	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう～	NPO法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
	29	B-15	むささびっ子の森くらぶ	NPOチームぱんどり	○				
	29	B-16	夜の東山の森で虫たちを灯火採集!	なごやの生き物調査の会	○	○	○	○	○
	30	B-17	♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪	なごやネイチャーゲームの会	○	○	○	○	○
	30	B-18	りす山の自然学校:あなたの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○	○	○
	31	B-19	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう!」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
	31	B-20	青空遊園 川に親しみ川を学ぶ!	川ナビ歩こう会	○	○	○	○	○
	32	B-21	木曾三川とどのように向き合うか?	よみがえり長良川実行委員会	○		○	○	○
	32	C-03	カトケン自然観察会 ～蟹江町で夏の生き物を探してみよう♪～	株式会社 加藤建設	○				
	33	C-04	「植物の魅力」を体験しよう!	名古屋市みどりが丘公園	○	○	○	○	○
	33	C-05	なごや・近郊の森deセルフケア	prana			○	○	○
	34	C-06	耕作放棄地を再生した里山で桑茶づくり体験	株式会社大鶴	○	○	○	○	○
	34	C-07	なごやの建設屋さんエコアクションを体感しよう!	一般社団法人 名古屋建設業協会	○	○	○	○	○
	35	C-09	田んぼ体験しよう!～昔ながらの農具を使って～	戸田川緑地管理センター	○	○	○	○	○

### 企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。

講座番号 C

### 大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。

講座番号 D

### 生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、年間1講座を計画しています。区の特性に合った内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。

講座番号 E

② 自然共生 (気象・自然体験) (生物多様性)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		36	C-08	きみもプラネタリアン！～やってみよう、プラネタリアム解説～	アクティオ株式会社 名古屋営業所		○	○		
	36	E-01	【徳川園共催】昆虫王国～命きらめく都会のオアシス～	名古屋市東生涯学習センター	○					
	37	E-02	歩いて自然を体感！公園の魅力	名古屋市緑生涯学習センター			○	○	○	
	38	E-03	農から始める SDGsらいふ♪	名古屋市南生涯学習センター			○	○	○	
③ 資源循環 3R(ごみ問題・産業廃棄物)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		39	B-22	環境に優しい！親子で体験 いらないものマルシェ	チャイルドケアプラス	○				
		39	B-23	子どもたちの思い出を残そう	一般社団法人 ソダテル・メソッド					○
		40	B-24	勿体ないを家庭から～編/織/染～【手あみ・手縫い基礎学びます】	手あみ生涯学習ぐるーぷ				○	○
		41	B-25	「おかえりやさい」を知って学んで味わって楽しもう！	おかえりやさいプロジェクト	○	○	○	○	○
		41	C-10	紙のリサイクル	愛知県古紙協同組合	○	○	○	○	○
		42	C-11	びん、缶、ペットボトルのリサイクル	愛知県再生資源団体連合会	○	○	○	○	○
	42	C-12	第34回環境フォーラム 里海から始まる生物多様性	株式会社エステム	○	○	○	○	○	
④ 健康安全 (食・くらし・防災安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		43	C-13	受講生と共に作り、学びあう体験講座 ～21年連続開催中～	株式会社山田組	○	○	○	○	○
	44	E-04	【港区役所南陽支所連携】南陽地区の米作りから地産地消を学ぼう	名古屋市港生涯学習センター	○					
⑤ まちづくり(コンパクトシティ・交通・水)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		45	B-26	法律と環境～あなた名義の家や土地、忘れていませんか？～	環境カウンセラー岡本明子				○	○
		46	E-05	水の歴史資料館で学ぶ 名古屋の下水道と大雨・防災	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館	○	○	○	○	○
		46	E-06	めざせ！水の環境復活	名古屋市環境局地域環境対策課	○	○	○	○	○
		47	E-07	自然と共にある日本の暮らしの文化をランドスケープデザインに活かす	名古屋市中村生涯学習センター	○	○	○	○	○
		47	E-08	コンパクトシティ名古屋！～これからの生活の在り方～	名古屋市瑞穂生涯学習センター			○	○	○
		48	E-09	交通と環境のつながり～名古屋の未来を考える～	名古屋市中川生涯学習センター					○
	48	E-10	きれいな水を未来へ～水環境の保全について学ぶ～	名古屋市中生涯学習センター			○	○	○	
⑥ 国際協力・多文化共生	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		49	B-27	外国の文化を通じて環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	
		50	B-28	楽しく学ぶフェアトレード(通常開催/オンライン開催)	愛知からフェアトレードの輪をつなげる会	○	○	○	○	○
	50	E-11	コーヒーを通して考える環境問題	名古屋市昭和生涯学習センター			○	○	○	
⑦ 人づくり(人材育成・スキルアップ)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		52	A-03	SDGsオンラインセミナー「ものづくりが生み出す持続可能な社会」	「なごや環境大学」実行委員会				○	○
		52	A-04	【夏休み企画】ICT×環境 農林水産業のスマート化って何だ？	「なごや環境大学」実行委員会			○	○	○
		53	B-30	テクノロジーカフェ	公益社団法人 日本技術士会中部本部登録 倫理実践力開発普及会	○	○	○	○	○
		54	B-29	0歳からできる 自然とあそびのコミュニケーション	協育NPO母里ん子	○				
		54	B-31	地球エコ防衛隊:Let'sネイチャーポジティブ!	地球エコ防衛隊	○	○	○	○	○
		55	B-32	「地球は人間だけのものではない」レイチェル・カーソンの思いを繋ぐ	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム	○		○	○	○
	55	D-01	木材加工でスマホスタンドにチャレンジ	名古屋市立工芸高等学校 建築システム科	○	○				

なごや環境大学のウェブサイト  
エコパートナーズデータベースにて各企画・運営団体の活動内容がご覧いただけます。

# 共育講座・ゼミナール一覧

2025年度（後期）

## 講座番号 Z-〇〇

### 共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

## 講座番号 A-〇〇

### なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

## 講座番号 B-〇〇

### 市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。こどもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。

ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
<b>共育ゼミナール 活動紹介&amp;メンバー募集</b>								
15	Z-01	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査	東谷山ニホンミツバチの会				○	●
16	Z-02	日本庭園と生物多様性	モノサシなごや（都市の自然のモノサシ研究会）				○	●
16	Z-03	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会 / 株式会社地域環境計画				○	●
<b>①脱炭素（エネルギー・気候変動）</b>								
18	B-33	未来の環境を工作で楽しく学ぼう！	木陽塾さかき研究所	●		◎	○	●
19	E-12	幸せな地球を守るために ～サステナブルな未来への第一歩～	名古屋市西生涯学習センター					中学生を除く 15歳以上の方
19	E-13	今こそ始めよう！SDGs・環境に配慮した事業活動	名古屋市環境局環境企画部脱炭素社会推進課					●
<b>②自然共生（生物多様性・気象・自然体験）</b>								
20	A-02	山の社会見学	「なごや環境大学」実行委員会	●	○	◎	○	●
21	B-34	絶滅危惧のニホンミツバチを救い、環境を守ろう	中部 日本みつばちの会	●	○	◎	○	●
22	B-35	ハーブの楽しみ方の再発見！	わくわくハーブプロジェクト	●	○	◎	○	●
22	B-36	山崎川と周辺の野鳥観察	山崎川グリーンマップ	●	○	◎	○	●
23	B-37	「私だけのクラフトづくり」～自然のめぐみを親子で創作しよう～	あいち森林インストラクター会	●	○	◎	○	●
23	B-38	エコツアー 渥美を学び、渥美を食べよう！	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊	●	○	◎	○	●
24	B-39	やっかいものを食べて減らそう！	ビオトープ・ネットワーク中部	●	○	◎	○	●
24	B-40	SDGsなチョコレートであなたに出来る社会貢献！	eye opener	●	○	◎	○	●
25	B-41	森・畑・田んぼ・ため池～生き物がつなぐ共生社会～	プロジェクト・ヴィーノ	●	○	◎	○	●
25	B-42	森を知る、守る、食べる	公益社団法人日本山岳会東海支部・猿投の森づくりの会	●	○	◎	○	●
26	B-43	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	●				
26	B-44	地球探検隊 ～地球を感じよう～	一般社団法人 地球倶楽部	●	○	◎	○	●
27	B-45	気候変動から考える志段味古墳群周辺の環境と社会	歴史の里マイスターの会					●
27	B-46	干潟の学校 ～藤前干潟でいろう～んなことしましょ！～	NPO法人藤前干潟を守る会	●	○	◎	○	●
28	B-47	木曽川の生物多様性の恵みに感謝し、水源の森で学び、遊ぶ	NPO法人「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」	●		◎	○	●
28	B-48	0歳からの自然散策 親子で冬を感じよう	協育NPO母りん子	●				
29	B-49	もりもり自然体験・大発見	かすがい里山自然楽校	●	○	◎	○	●
29	B-50	りす山の自然学校：あなたの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	●	○	◎	○	●
30	B-51	青空遊園 初秋の藤前干潟でカニを学ぶ！	川ナビ歩こう会	●	○	◎	○	●
30	B-52	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	●	○	◎	○	●
31	B-53	環境カウンセラーと行く『セントレアまるごとウォッチング2025』	環境カウンセラー岡本明子				○	●
32	B-54	「ゆるり時間」まちなかでゆっくり自然を楽しもう	ひこばえ社中					●
33	B-55	名古屋市内の“自然と歴史”、そして“ものづくり”	NPO 東海自然学園					●
33	B-56	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑で綿をつくろう！」	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも	●	○	◎	○	●
34	B-57	むささびっ子の森くらぶ	NPO チームばんどり	●				
34	C-14	バードウォッチングに挑戦!! 蟹江町にやってくる野鳥を観察♪	株式会社 加藤建設自然環境課	●				

講座番号 C-〇〇

企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。

講座番号 D-〇〇

大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。

講座番号 E-〇〇

生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、年間1講座を計画しています。区の特性に応じた内容や、全市の視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。

ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
35	C-15	みんなで守ろう！～生きものが住み続けられる環境～	戸田建設株式会社 名古屋支店	●	○			●
35	C-16	なごやの森deセルフケア	prana			◎	○	●
36	C-17	なごやの建設屋さんエコアクションを体感しよう！	一般社団法人 名古屋建設業協会	●	○	◎	○	●
36	C-18	冬の里山のお手入れ体験 ～桑の剪定と焚き火時間～	株式会社大醐	●	○	◎	○	●
37	C-19	東邦ガスの森みたく 森を守って色鉛筆を作ろう	東邦ガス株式会社	●				
37	E-14	めざせ!! 水の復活～学んでみよう、水のこと～	名古屋市環境局地域環境対策課	●	○	◎	○	●
38	E-15	なごやの動物学び隊！～名城大学野生動物生態研究会と一緒に～	名古屋市天白生涯学習センター	●	○	◎		●
39	E-16	【公開講座】火山噴火と大気環境	名古屋市千種生涯学習センター	●	○	◎	○	●
40	E-17	歩いて自然を体感！公園の魅力	名古屋市名東生涯学習センター					中学生を除く 15歳以上の方
<b>③資源循環（3R・ごみ問題・産業廃棄物）</b>								
42	C-20	「なごやリサイクル探検隊（環境特区昭和町を巡る旅）」	グリーンサイクル株式会社、中部リサイクル株式会社、株式会社アビツ	●	○	◎	○	●
43	B-58	勿体ないを家庭から～【手直し・手繕い・手あみの基礎記号学び】	手あみ生涯学習ぐるーぷ				○	●
44	B-59	地域循環型野菜「おかえりやさい」を知って学んで味わって楽しもう！	おかえりやさいプロジェクト	●	○	◎	○	●
45	E-18	地球にやさしい生活の仕方～食品ロスやごみの問題などから考えよう～	名古屋市熱田生涯学習センター					中学生を除く 15歳以上の方
46	E-19	明日につなげる 循環型社会	名古屋市北生涯学習センター				○	●
47	E-20	地球にやさしく、アップサイクル～未使用布や糸をいかして～	イーブルなごや（名古屋市女性会館）	●	○	◎	○	●
<b>④健康安全（食・くらし・防災・安全）</b>								
48	B-60	「かずえばあちゃん」と「おんこさん」の食を考える② 実践編	なごや環境サポーターネットワーク	●		◎	○	●
49	B-61	親子防災教室	名古屋なががわ災害ボランティアネットワーク		○			
49	B-62	リトルアドベンチャー	りとるらぼ Outdoor School	●	○	◎	○	●
50	B-63	知っところ！放射線の基礎および原子力防災のイロハ	未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター（略称：Cラボ）	●		◎	○	●
50	B-64	市民参加で地域防災や生活環境を守る方法を考える	CE技術の会				○	●
51	C-21	東谷山フルーツパークのネイチャー×カルチャー×サバイバル！	東谷山フルーツパーク	●	○	◎	○	●
<b>⑤まちづくり（コンパクトシティ・交通・水）</b>								
52	C-22	聞いて役立つ環境と不動産の話	公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会				○	●
53	E-21	これからのまちづくりを考えよう！	名古屋市守山生涯学習センター				○	●
54	E-22	水の歴史資料館で学ぶ 安全・安心な名古屋の水道	名古屋市上下水道局 水の歴史資料館	●	○	◎	○	●
<b>⑥国際協力・多文化共生</b>								
56	B-65	外国の文化を通じて環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	●	○	◎	○	
<b>⑦人づくり（人材育成・スキルアップ）</b>								
58	A-03	2025秋冬 SDGs オンラインセミナー	「なごや環境大学」実行委員会				○	●
59	B-66	地球エコ防衛隊 サステナブル食品を探検！の巻	地球エコ防衛隊	●			○	●
59	B-67	レイチェル・カーソンの想いを紡ぐ	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム			◎	○	●
60	B-68	テクノロジーカフェ	公益社団法人 日本技術士会中部本部登録倫理実践力開発普及会	●	○	◎	○	●

2025 年度

# 実行委員会主催事業・イベント出展の一覧

■主催事業 ※オンラインでの参加含む

○野外体験 / □施設体験 / △屋内実習 / ●座学・鑑賞

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	SDGs 普及啓発教育プログラム第2期「持続学のすすめ」	15	225	共催：愛知学院大学、中部大学
○△	山の社会見学	7	80	共催：スタジオ 385
●	SDGs オンラインセミナー	8	216	
△●	《脱炭素を考える》基礎講座 次世代エネルギーワークショップ【大学生対象】	4	132	
○△	環境情報メディア部 プロジェクト	8	22	
○□△●	SDGs 普及啓発教育プログラム第3期 「なごや環境大学 SDGs アソシエイト養成講座」	6	54	共催：愛知学院大学、中部大学 協力：三和清掃株式会社、中部有機リサイクル株式会社
●	ICT×環境 農林水産業のスマート化って何だ？	3	69	
○□△	愛岐の里山たいけん隊（夏） 愛岐の里山たいけん隊（秋）	2	41	協力：岐阜県多治見市諏訪町の皆様、名古屋市愛岐処分場、名古屋市鳴海工場、株式会社石川マテリアル、緑リサイクルセンター、稲永ビジターセンター、名古屋市野鳥観察館
○□△●	ユース提案型 湿地の未来プロジェクト	6	104	
●	気候変動による生物多様性への影響・保健環境委員会大会講演会	2	1596	
△	中高生と考えるごみ出しマナーアッププロジェクト	5	50	
□△●	なごや SDGs スタディツアー 2025	7	397	協力：株式会社サンゲツ、昭和土木株式会社、株式会社マザーハウス、株式会社マルワ、愛知株式会社
●	なごや環境大学 20 周年&ラムサール条約湿地都市認証記念シンポジウム「なごやには湿地がある」	1	304	
●	環境と法	15	1500	共催：愛知学院大学
●	SDGs 普及啓発教育プログラム第1期「産官民提携講座II」(SDGs 概論)	15	135	共催：愛知学院大学、中部大学
●	ビジネスプランニング入門	3	150	共催：愛知淑徳大学
●	なごや環境大学 SDGs アソシエイト企画講座「スクリーンから始める共創」	1	169	共催：愛知学院大学
●	第20回 持続可能な明日をめざすシンポジウム「いのちつながる街づくり・担い手づくり」	1	170	共催：名古屋市、名古屋商工会議所、一般社団法人名古屋建設業協会、東日本建設業保証株式会社
●	どうする？なごやの脱炭素	1	24	共催：一般社団法人環境政策対話研究所
△●	SDGs にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2025	1	20	
○	森イキ！スキルアップ講座	1	19	共催：公益財団法人名古屋市みどりの協会 協力：なごや森づくりパートナーシップ連絡会、岐阜県立森林文化アカデミー
△●	なごや環境大学 SDGs アソシエイト企画講座「ガラスアートでアップサイクル」	1	23	
●	20th Anniversary Party「みんなで作るなごやの未来」	1	62	



ユース提案型 湿地の未来プロジェクト



なごや環境大学 20 周年&ラムサール条約湿地都市認証記念シンポジウム「なごやには湿地がある」



愛岐の里山たいけん隊（秋）



こどもえんにち 2025



SDGs 普及啓発教育プログラム（修了式）



講座企画者説明会・交流会

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	五箇先生と考える！生物多様性とことんトーク	1	114	
●	講座企画者説明会・交流会	4	96	

## ■イベント出展、その他

講座種別	事業名	日にち	延人数	備考
○	星が丘ボタジェ フルールマルシェ (地域で取り組むローカル SDGs プロジェクト)	2025年5月3日(土)	200	主催：東山遊園株式会社
○	愛・地球博 20 祭「生まれ！あいちの魅力博。」	2025年5月10日(土)・ 2025年5月11日(日)	760	主催：愛知万博 20 周年記念事業実行委員会
△	なごや SDGs フィールドスタンプラリー	2025年7月19日(土)～ 2025年8月31日(日)	3,453	協力：なごや SDGs フィールド
△	あいち環境学習交流会	2025年7月28日(月)	52	主催：愛知県
○	愛・地球博リレーシンポジウム	2025年8月11日(月)	140	主催：愛知万博 20 周年記念事業実行委員会
○	環境デーなごや 2025	2025年9月13日(土)	377	主催：環境デーなごや実行委員会
△	第 36 回廃棄物資源循環学会研究発表会	2025年9月17日(水)・ 2025年9月18日(木)	198	主催：一般社団法人廃棄物資源循環学会
○	TOYOTA SOCIAL FES!!2025	2025年10月11日(土)	102	主催：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、中日新聞、なごや環境大学実行委員会
△	FOODBIZ SUMMIT NAGOYA 2025	2025年10月29日(水)・ 2025年10月30日(木)	33	主催：株式会社折兼
○	こどもえんにち 2025	2025年11月9日(日)	105	主催：認定 NPO 法人 LivEQuality HUB
△	名古屋市消費者生活フェア	2025年11月15日(土)	406	主催：名古屋市
△	愛知淑徳大学 CCC コラボメッセ	2025年12月7日(日)	53	主催：愛知淑徳大学

# 2025 年度連携講座一覧

連携講座は、なごや環境大学の趣旨にご賛同いただいた企業・団体等が実施する講座・イベントです。  
2025 年度は 17 講座が開催されました。

	開催日	講座名	実施者
1	2025年4月23日(水) ・2025年4月26日(土)	SDGs カードゲームセミナー	加山興業株式会社
2	2025年5月11日(日)	食べることの過去・現在・未来 ～歴史に学び、未来につなぐ～	水俣病・東海の会、わっぱの会、水俣・写真家の眼
3	2025年5月18日(日) ～2025年11月22日(土)	天白・もりのフォーラム事業 「天白・自然とふれあい隊！」	天白・もりのフォーラム実行委員会 (事務局：天白区役所地域力推進課)
4	2025年5月24日(土) ～2025年11月23日(日)	昔ながらの米づくり体験	NPO 法人えな
5	2025年6月7日(土)	ふるさと親子自然観察会	名古屋自然観察会
6	2025年4月27日(日) ・2025年6月22日(日) ・2025年11月23日(日)	なごや自然教室	名古屋自然観察会
7	2025年7月1日(火) ～2025年9月8日(月)	第 20 回 パナソニック 環境絵画コンクール	パナソニック株式会社 空質空調社
8	2025年7月10日(木) ～2026年1月17日(土)	森づくり体験会	名古屋市緑政土木局緑地利活用課
9	2025年7月20日(日) ～2025年8月30日(土)	*水から輝く* ～水の源を手入れしてともに輝きませんか～	地球の楽光 (ほしのがっこう)
10	2025年7月21日(月)	G-1 グランプリ (ゴミ拾い)	願隆寺
11	2025年9月3日(水) ・2025年9月12日(金)	環境エネルギー塾	中部電力株式会社
12	2025年9月7日(日)	庄内川の魅力発見！上下流の魅力を親子で体験！	川ナビ歩こう会 (協力：株式会社 地域環境計画)
13	2025年10月11日(土)	自然栽培ラーニングプログラム パート 2	名古屋の給食をオーガニックにする会、 Foods for Children 愛知
14	2025年11月15日(土) ・2025年11月16日(日)	第 627 回 NACS-J 自然観察指導員講習会・愛知	公益財団法人 日本自然保護協会
15	2026年1月24日(土)	しいたけの菌打ちにチャレンジしよう！	相生山緑地オアシスの森くらぶ
16	2026年2月7日(土)	自然栽培ラーニングプログラム パート 3	名古屋の給食をオーガニックにする会、 Foods for Children 愛知
17	2026年2月17日(火)	海の変化を読み解く 90 分 ～伊勢湾シミュレーターとモニタリングの最前線～	中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

(実施順)

# 2025 年度 事業報告

第4期ビジョンに掲げる重点目標の達成に向けて、2025年度の事業方針にそって事業を進めました。2025年度は環境教育コーディネーターが積極的に共育講座や外部のセミナー等に参加し、知見の獲得やスキルアップにつなげました。20周年の節目にあたり、今後の10年に向けて、なごや環境大学が果たすべき3つの社会的な役割・機能を強化していくためのファーストステップとなる事業を展開するとともに、「第5期ビジョン」の策定に着手しました。

## 重点目標 1

「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」を提供します。

### 【1 しみんを支え、しみんをつなぐ各種講座・調査・見学の実施】

#### ○ 公募講座・ゼミナール

2025年度は前期・後期あわせて6団体がフレッシュ講座を実施。そのうち1団体は、SDGs普及啓発教育プログラムの前年度修了生、「なごや環境大学 SDGs アソシエイト」が企画した講座であり、SDGsの知識を得るだけでなく周りに伝えていく行動につながりました。

#### ○ 主催講座

なごや環境大学20周年と名古屋市がラムサール条約湿地都市として認証されたことを記念したシンポジウムを実施。なごや環境大学をこの講座で初めて知った方や知ってはいたが講座を受講したことがなかった方々に参加していただく機会となりました。

また、愛知学院大学と協働して映画上映会から産学官民の連携を促すための「スクリーンから始まる共創」を実施。「なごや環境大学 SDGs アソシエイト」が企画・運営し、企業等から協賛金を集めるなど、これまでにない試みで新たなつながりを創出しました。

#### ○ イベント等における情報発信

愛・地球博記念公園で実施された愛・地球博20周年記念イベントや食品容器などを取り扱う株式会社折兼が企画する「FOODBIZ SUMMIT NAGOYA 2025」等に新たに参加し、なごや環境大学の知名度を高めることを目的としたブース出展を行いました。ブース運営については、「なごや環境大学 SDGs アソシエイト」と協力しながら行いました。



## 重点目標 2

人材・組織のデータベース、双方向コミュニケーションを可能にする情報媒体を活用し、多様な主体が情報等資源を持ち寄り、意見を出し合う場をつくります。

### 【Ⅰ しみんを支え、しみんをつなぐ各種講座・調査・見学の実施】

小学生が近隣の企業を訪れ、その取組みを実際に見聞きするなごやSDGsスタディツアーを実施。学校で学んでいるSDGsが自分の身近なところで実践されていることを知り、同じ地域の学校と企業がパートナーシップを組み、持続的なSDGs学習の場をつくるためのきっかけを創出しました。

2025年度は昨年度の実施校に加えて、新たに2校の実施を企画検討しました。徒歩圏内の企業選定に難航しましたが、天白区の植田北小学校において年間を通したSDGsカリキュラムの一環として1校実施することができ、小学校、企業とも好評価を得ました。

### 【Ⅱ なごやを動かすしみん参加型社会実験の展開】

国立環境研究所の五箇公一氏をお迎えして、「五箇先生と考える！生物多様性とことんトーク」を実施。話題提供の後にフリートークを行い、今を生きる私たちができる生物多様性との向き合い方を一緒に考えるきっかけとしました。

### 【Ⅲ 持続可能な都市づくりを担う環境シンクタンクとしての政策提言、政策評価】

自治体間での情報共有と相互の学びを目的とする「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング2025」を実施。2025年度はゼロカーボンやSDGsの推進において避けて通れない「廃棄物処理」をテーマに、市民の理解と協力をどのように得ていくかに焦点を当てて開催し、ごみの多様化への対応、資源化のさらなる推進、分別ルール周知や市民協働の工夫など、現場で直面している課題について、自治体同士で率直に共有・意見交換できる場としました。他自治体の取組みや工夫を知ることによって、各自治体における今後の施策立案や市民啓発の検討につなげました。

## 重点目標 3

協働による社会実験など、多様な主体に行動する機会や場を提供します。

### 【Ⅰ しみんを支え、しみんをつなぐ各種講座・調査・見学の実施】

共育講座実施団体と協働し、森イキ！プロジェクトを実施。岐阜県美濃市・関市をフィールドに、山を知り、山の恵みを体験する講座「山の社会見学」で、名古屋市とその近郊の受講者に森林保全に関心を持っていただく機会としました。また、岐阜県立森林文化アカデミーとの連携により、森づくりに携わっている方のスキルアップを目指した講座を実施し、植生調査の基礎から実地演習、データの活用法を学ぶ場を提供しました。

### 【Ⅱ なごやを動かすしみん参加型社会実験の展開】

地域で取り組むローカルSDGsプロジェクトを星ヶ丘地区で実施。地域特性を活かして環境・経済・社会の3側面が連携する意味と意義の見える化、農・福祉・ビジネスの視点を入れて、SDGsの概念を地域レベルで具現化することを目指し、星ヶ丘テラスおよび愛知淑徳大学CCCと検討を重ね、星ヶ丘テラスにおけるフルールマルシェにおいてアンケートを実施するとともに、椋山女学園大学経営学部の受講生に協力いただき、同様にアンケートを実施して星ヶ丘地区の魅力について分析を行いました。

また、このプロジェクトに協力いただいた金城学院大学の准教授と協働し、2026年度の金城学院大学における連続講座を企画しました。



## 重点目標 4

持続可能な都市を担う「次世代育成」のために、ユースを対象にした事業の充実を図ります。

### 【Ⅰ しみんを支え、しみんをつなぐ各種講座・調査・見学の実施】

愛知学院大学との連携協定に基づく連続講座「環境と法」に加えて、新たに名古屋市立大学における連続講座「なごやの環境持続性概論」(全15回)の企画検討を行い、次年度から実施することとし、大学との連携を図りました。

また、愛知淑徳大学において連続講座「ビジネスプランニング入門」を実施。大学生目線での共育講座の企画案を作成し、環境問題を自分ごととしてとらえる機会としました。

合わせて、愛知淑徳大学 CCC が開催する CCC コラボメッセに参加し、学生になごや環境大学について知ってもらう機会としました。

### 【Ⅱ なごやを動かすしみん参加型社会実験の展開】

名古屋国際中学校・高等学校のSDGs未来倶楽部(Sus-Teen!)と協働し、ごみ分別の情報が伝わりにくい外国人に対して情報を伝える手段などを検討し、中学生・高校生自身も名古屋市のごみ問題について考える機会としました。2026年度に愛知工科大学外国語学校に協力いただき、出前授業を実施し、外国人と交流を図りながらどのようにしたらごみ分別の情報が伝わりやすいのか検証を行う予定です。

### 【Ⅲ 持続可能な都市づくりを担う環境シンクタンクとしての政策提言、政策評価】

なごや環境大学20周年と名古屋市のラムサール条約湿地都市認証を契機に、関りの薄かった若者を対象とした「ユース提案型湿地の未来プロジェクト」を実施。約半年にわたりフィールドワークやワークショップを重ね、藤前干潟の課題を実際の現場から学び、若者ならではの発想でその解決策をまとめ、行政や市民団体などの関係者を招いた成果発表会で提案しました。2026年度には、その提案を基に市民参加型の社会実験を進めていく予定です。若者が自ら課題を発見し、関係者へのヒアリングを通じて解決策を模索した経験は、次世代の担い手を育む貴重な機会となりました。

## 重点目標 5

目標達成のための定量的(定性的)な評価指標と評価方法を導入します。

2024年度から引き続き事務局内部研修を実施し、なごや環境大学の社会的価値と今後について、開講当時の想いやあるべき姿について研修を行うとともに、現状のなごや環境大学についてSWOT分析を実施しました。

また、第5期ビジョンの策定について検討する中で、第4期では評価指標が明確でないまま事業を進めてきたことが反省点として挙げられ、評価は、①参加者による評価、②事業全体の成果(アウトプット)、③社会への影響(アウトカム)の3段階で整理すべきであり、データの収集と分析を分けて考える必要があることを確認しました。

第5期ビジョンの策定に関しては、課題として評価指標は「誰のための評価か(資金獲得、参加者への還元、社会への説明責任等)」を明確にしたうえで設定する必要があると、第5期ビジョンでは理念・方針・体制と併せて評価指標を設計することが重要であるとの認識を共有しました。



## 重点目標 6

**なごや環境大学がより発展するために、外部資金導入も図り新たな事業展開をめざします。**

なごや環境大学ガイドブックの広告について新たに3社に賛同をいただき、広告掲載につなげました。また、新たな試みとして、愛知学院大学と協働して映画上映会から産学官民の連携を促すための講座「スクリーンから始まる共創」を「なごや環境大学 SDGs アソシエイト」が企画・運営し、企業等から協賛金を集めました。

また、第5期ビジョンの策定に着手し、基本方針については、「共育」「社会実験」「シンクタンク」という3つの機能を軸に整理し、それぞれに中長期（複数年）で位置づく事業をぶら下げる構成を検討しました。環境大学のブランディングを図ることで、国の補助金や寄付金の獲得について、あらゆる外部資金獲得の方法を模索する必要があります。

## 重点目標 7

**なごや環境大学のブランディングを図ります。**

なごや環境大学が持つ社会的な役割について整理するとともに、2025年度は20周年記念シンポジウムを始めとする140以上の講座やイベントを実施し、延べ18,000人以上の方々に参加をいただきました。

2025年度はなごや環境大学が20周年を迎える節目の年として、その基本理念や社会的役割を改めて整理し、ブランド価値の向上に向けた様々な取組みを展開しました。20周年を機にガイドブックを刷新し、これまでの歩みと特色ある活動をわかりやすく紹介するとともに、20周年記念シンポジウムでは、多様な主体の参画を得て、今後の展望を発信しました。

また、愛・地球博20周年記念事業や愛知学院大学創立150周年記念事業との連携による相乗効果を通じて、なごや環境大学の存在感と知名度の向上を図りました。

# 持続可能な社会づくり～SDGs 達成を目指して～

## 主催講座・事業



### SDGs 普及啓発教育プログラム (2024年9月開講分)

SDGsの普及啓発に資する人材を育成するため、なごや環境大学と愛知学院大学、中部大学の連携により、2024年9月にスタートした第1期に引き続き、第2期、第3期のプログラムを各会場で開催しました。

2025年4月11日(金)～2025年9月27日(土)  
【会場】中部大学(第2期)、エコパルなごや(第3期) 【共催】愛知学院大学、中部大学

#### ・第2期「持続学のすすめ」【全15回】

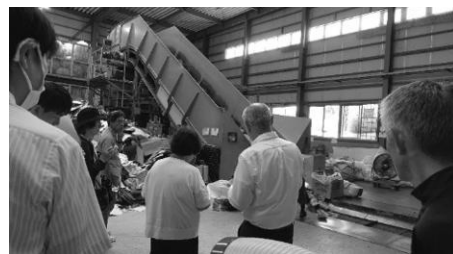
2025年4月11日(金)～2025年7月18日(金) 225名  
【会場】中部大学

中部大学の文理融合の総合大学の特色をいかして、国連が提唱するSDGsの「5つのP」(People、Prosperity、Planet、Peace、Partnership)をテーマに掲げたプログラム構成により、SDGsがめざす包括的な課題解決能力を養成することを目的に講義を行いました。

#### ・第3期「なごや環境大学SDGsアソシエイト養成講座」【全6回】

2025年8月2日(土)～2025年9月27日(土) 54名  
【会場】エコパルなごや、三和清掃株式会社、中部有機リサイクル株式会社  
【協力先】三和清掃株式会社、中部有機リサイクル株式会社

「なごや環境大学SDGsアソシエイト」として活躍するために、なごや環境大学の取組みやなごやを取り巻く様々なフィールドで環境に関する実地学習を行いました。また、これまで習得した知識を活かし、実践のためのプログラムづくりを通して、持続可能なより良い社会の実現に向け、社会活動や企業活動でSDGsについて発信する手法を学びました。



### SDGs 普及啓発教育プログラム (2025年9月開講分) 第1期「産官民提携講座Ⅱ」(SDGs概論)【全15回】

2025年9月26日(金)  
～2026年1月16日(金) 135名  
【会場】愛知学院大学 名城公園キャンパス  
【共催】愛知学院大学、中部大学

第四期生となる、なごや環境大学と愛知学院大学、中部大学の連携によるSDGs普及啓発教育プログラムが2025年9月からスタートしました。第1期は、「自分事」としてSDGsの推進に関わり、他者や社会を巻き込んでSDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶことを目的に、外部講師と愛知学院大学の教員がオムニバス形式で講義を行いました。



### SDGs オンラインセミナー

2025年度より年間プログラム化し、パワーアップ!  
2025年5月16日(金)～2026年2月20日(金) 216名(全8回)

伝統的なものづくりから最新のオフィス設計、食品製造、社会福祉支援まで多角的なSDGsの実践事例を紹介し、商品の背景にある環境配慮や「誰一人取り残さない」ための地域活動を知り、リスナーが自らの行動を見直す契機を提供しました。

#### 「ものづくりが生み出す持続可能な社会」【全4回】

江戸時代から続く八丁味噌の伝統がつなぐもの	株式会社まるや八丁味噌
人にも環境にも優しい働く環境づくりを考える	株式会社オカムラ
植物由来の容器から生まれる環境ビジネス	株式会社折兼
日本の木材を使ったSDGsの取組み	名古屋木材株式会社



#### 未来を変えるSDGs：さあ、あなたも「誰一人取り残さない」社会へ【全4回】

いつもの一杯が、未来を創る。利用するだけで社会貢献できるサステナブルなカフェ	一般社団法人日本福祉協議機構
いつまでも愛されるサステナブルな一丁。誰ひとり取り残さない社会の実現へ	株式会社おとうふ工房いしかわ
食品業界のマスト・ブランドへ。サステナビリティ経営を推進	名城食品株式会社
「困りごと」から社会を変えていく。外国人ヘルプライン東海の試み	外国人ヘルプライン東海



### 「脱炭素を考える」基礎講座 次世代エネルギーワークショップ【大学生対象】

2025年7月5日(土)～2025年8月3日(日) 132名(全4回)  
【講師】鶴飼 宏成氏(名古屋市立大学高等教育院 教授)、加藤 丈佳氏(名古屋大学未来材料・システム研究所 教授)、白木 裕汰氏(名古屋大学大学院環境学研究所 准教授)、杉山 範子氏(東海学園大学ともいき教養教育機構 副機構長)

「30年後のエネルギー選択を考える」をメインテーマに据え、名古屋市立大学の学生を中心に、他大学の学生も単位認定科目として参加した、大学・キャンパスの枠組みを超えた異色の共同講義として実施されました。受講生は講義を通じて、将来のエネルギー需給や脱炭素化への影響を可視化する「エネルギーシミュレーション」を実施しました。単なる座学に留まらず、専用のツールを用いて自らデータを解析することで、科学的根拠に基づいた合意形成の難しさと重要性を深く学びました。

オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型形式を採用し、会場も愛知学院大学と名古屋市立大学の両キャンパスを使用しました。異なる環境での活動を通じて、学生たちは大学の垣根を超え、多角的な視点で交流・議論を深めることができました。



なごや環境大学の第4期ビジョンの柱の一つである「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」の提供を目指し、市民／市民団体、企業、教育機関、行政など多様な主体と協働して、講座やイベントを実施しました。2025年度の主催講座や事業をピックアップしてご紹介します。

## 環境情報メディア部 プロジェクト

2025年7月6日(日)～2026年2月21日(土) 22名(全8回)  
 【講師】長谷川 明子氏(ビオトープ管理士会中部支部 会長)、杉野 実氏(M<sup>1</sup> Project デザインプロデューサー)

ラムサール条約湿地都市として認証された名古屋市の自然に注目し、藤前干潟や八竜湿地、東山、南陽町の水田などをフィールドに取材を行いました。学生たちは各地で撮影した素材をもとに、環境的な視点から動画やポスターを制作し、2月の発表会にて一般市民へその成果を披露しました。

## ICT × 環境 農林水産業のスマート化って何だ？

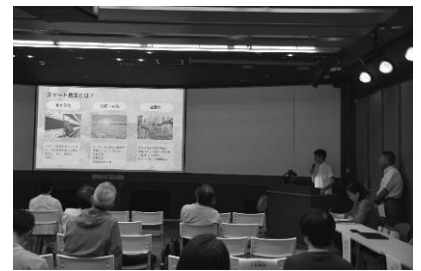
2025年8月6日(水)～2025年8月27日(水)  
 69名(全3回)  
 【会場】エコパルなごや

農業のスマート化で環境を考える！	東海農政局 株式会社 IT 工房 Z 株式会社ミライ菜園
林業のスマート化で環境を考える！	株式会社 woodinfo
水産業のスマート化で環境を考える！	鳥羽商船高等専門学校 情報機械システム工学科

第1回では、今後約20年間で基幹的農業従事者が現在の約4分の1(116万人から約30万人)に減少することが見込まれる中、生産水準を維持するためには、スマート農業技術の活用が不可欠であることが示されました。ICTの導入により、作業の効率化や身体的負担の軽減、生産性の向上が期待されることについて理解を深めました。

第2回では、衛星画像やドローン、地上レーザーなどのリモートセンシング技術とAIを組み合わせることで森林データの可視化が可能となり、計画的な森林管理が実現できることが紹介されました。森林をデジタル空間に再現することで将来予測を行い、持続可能な伐採や保全につなげる取組みについて理解を深めました。

第3回では、IoT 海洋観測モニタリングシステム「うみログ」により、水温・潮位・クロロフィルなどの海象データを取得し、スマートフォンで確認できる仕組みが紹介されました。これらのデータは、ノリ養殖における網の高さ調整や色落ち予測などに活用されており、水産業におけるICT活用の有効性について理解を深めました。



## 愛岐の里山たいけん隊【夏・秋】(春：雨天中止)

夏：2025年8月7日(木) 秋：2025年11月8日(土) 41名(全2回)  
 【会場】夏：名古屋市鳴海工場、石川マテリアル緑リサイクルセンター、稲永ビジターセンター、名古屋野鳥観察館  
 秋：愛岐処分場、諏訪町、エコパルなごや 【協力】岐阜県多治見市諏訪町の皆様

整理整頓の行き届いた鳴海工場では、臭気も少なく快適に見学できる環境が整えられていました。一方、緑リサイクルセンターでは、自動販売機横の回収ボックスから集められた空き缶やペットボトルの自動選別が行われており、飲料の残留などによる臭気も発生していました。こうした現場の状況から、作業にあたる職員の苦労や、適切な分別の重要性について理解を深める機会となりました。秋には、五平餅づくりやサトイモ掘りなどの体験活動を通じ、里山の自然や地域の食文化に触れる機会となりました。また、愛岐処分場の見学を通じて、自分たちの生活とごみの関係について考え、環境問題を身近な課題として捉える契機となりました。



## ユース提案型 湿地の未来プロジェクト

名古屋市のラムサール条約湿地都市認証およびなごや環境大学20周年を契機として、次世代を担う若者(ユース)の視点から湿地の未来を考えるプロジェクト。半年間(全6回)のフィールドワーク・ワークショップ・中間報告を重ね、藤前干潟等の課題解決に向けた「社会実験」のアイデアを提案する成果発表会を開催しました。

2025年8月9日(土)～2026年2月21日(土) 104名(全6回)  
 【会場】エコパルなごや パーチャルスタジオ

### ・フィールドワークの実施(全2回)

庄内川・南陽町水田・藤前干潟、八竜湿地・なごや東山の森ハンノキ湿地・企業ビオトープのフィールドワークを実施。多様な名古屋の湿地を体感しながら、課題や共通点を発見しました。



### ・ワークショップ・中間報告

藤前干潟とつながるものを考えるマインドマップやワークショップでチーム分けを行い、各チームの中間報告を経て、提案内容をブラッシュアップしました。



### ・成果発表会の開催(社会実験提案)

3チームが藤前干潟の課題(来訪者増と収益化・コアジサシの営巣地保全・釣りごみ対策)に対する社会実験のアイデアを提案。専門家からユースならではの斬新な発想と具体的な行動力が高く評価され、2026年度の実装に向けた足掛かりとなりました。

## 気候変動による生物多様性への影響・名古屋市保健環境委員大会講演会

2025年9月2日(火)  
 ・2025年11月6日(木) 1,596名  
 Niterra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

第47回名古屋市保健環境委員大会の中で第2部として環境講演会を行いました。CBC テレビでおなじみの気象予報士桜沢信司氏をお招きし、「100年後の天気予報 名古屋こうなる？」と題してクイズなども交えながら楽しく身近に起きている地球温暖化の影響についてご講演いただきました。日ごろ名古屋市のごみ分別にご協力をいただいている保健環境委員のみなさまは熱心に聴講されていました。



## 中高生と考える ごみ出しマナーアッププロジェクト

ごみ減量や資源化ももちろん大事な問題ですが、ごみの出し方もとても重要です。うまく情報が届いていない可能性の高い外国人や若者などを対象に、有効な情報の届け方を模索、実証しました。

2025年9月10日(木)～2026年3月19日(木) 50名(全5回)  
【プロジェクトリーダー/メンバー】千頭 聡氏(日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員) / 松本 イズミ氏(NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員・名古屋国際中学校・高等学校・愛知工科大学外国語学校)



### ・昨年度の振り返りと授業内容の検討

昨年度外国語学校向けに実施した出前授業の振り返りをしつつ、新たな出前授業の内容を考えました。

### ・出前授業に向けたミーティングの実施

昨年度は一方向的な授業になってしまった反省を踏まえ、交流の時間を多く取れるよう何回もミーティングを行い、授業内容を改善しました。

## なごやSDGs スタディツアー 2025

名古屋市内の小学生が学校近くにある企業を訪問し、各企業が実践するSDGsの取組みを学びました。本年度は5校・5企業で実施し、児童一人ひとりがSDGsを身近なものとして捉え、自分に何ができるかを主体的に考える機会となりました。

2025年10月8日(水)～2026年2月6日(金) 397名  
【実施企業・学校】

- ① 昭和土木株式会社 × 名古屋市立植田北小学校
- ② 株式会社マルワ × 名古屋市立植田南小学校
- ③ 愛知株式会社 × 名古屋市立筒井小学校
- ④ 株式会社サンゲツ × 名古屋市立南押切小学校
- ⑤ 株式会社マザーハウス × 名古屋市立星ヶ丘小学校

【コーディネーター】

大鹿 聖古氏(愛知教育大学理科教育講座 教授/地域連携センター長/「なごや環境大学」実行委員)  
新海 洋子氏(一般社団法人SDGsコミュニティ 代表理事/「なごや環境大学」実行委員)



## なごや環境大学 20周年&ラムサール条約湿地都市認証記念シンポジウム ～なごやには湿地がある～

なごや環境大学開学20周年と、名古屋市がラムサール条約に基づく湿地都市として認証されたことを記念し、藤前干潟を中心とした湿地保全の取組みや、ネイチャーポジティブの推進に向けた取組みを広く市民に伝えるシンポジウムを開催しました。

2025年9月23日(火) 304名  
【会場】鯉城ホール(名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライブプラザ5階)

【登壇者】司会: 深谷 里奈氏/基調講演: 環境省野生生物課 主査 境耕平氏/ラムサール条約第15回締約国会議参加報告: 藤前干潟ユース(岸 晃大氏・西 亮憲氏・中田 葉悠氏)/企業発表: 日本製鉄株式会社名古屋製鉄所資源化推進部 上席主幹 田崎 智晶氏/トーク

ショーゲスト: 俳優・モデル 天翔 天音氏/パネルディスカッション コーディネーター: 長谷川 明子氏(名古屋大学大学院環境学研究所 特任教授)、パネラー: 田崎 智晶氏・中田 葉悠氏・藤前干潟協議会運営委員長 千頭 聡氏・名古屋市環境局 担当局長 嶋 久美子/閉会挨拶: 「なごや環境大学」学長 水野 明久

【共催】「なごや環境大学」実行委員会・名古屋市 後援: 環境パートナーシップ・CLUB/メーテレ

### ・記念ミュージカルの上演

劇団シンデレラによる環境ミュージカル「ラムサール条約って何?」を上演。歌とダンスを交えたステージで観客に自然保護の大切さを楽しく伝えました。



### ・ラムサール条約第15回締約国会議(COP15)参加報告

藤前干潟ユース(岸 晃大氏・西 亮憲氏・中田 葉悠氏)が、ジンバブエで開催されたCOP15での活動発表や国際交流の実施を報告。世界の湿地保全仲間とのつながりを得て、藤前干潟からネイチャーポジティブの理念を広げていく決意を示しました。

### ・トークショー・パネルディスカッションの実施

俳優・モデルの天翔天音氏を迎えたトークショーでは、藤前干潟でのドラマ撮影経験や訪問の感想、ユースの活動内容や継承の重要性を共有。パネルディスカッション「みんなと進めるネイチャーポジティブ」では、市民・企業・行政・教育機関の連携強化を呼びかける内容となりました。

## 愛知学院大学連携講座「環境と法」

2025年9月24日(水)～2026年1月14日(水) 1500名(全15回)

【会場】愛知学院大学 名城キャンパス

【講師】尋木 真也氏(愛知学院大学法学部 准教授)、名古屋市 職員、環境省中部地方環境事務所 職員、名古屋産業大学、愛知県古紙協同組合、株式会社エステム

産、官、民それぞれのセクターから専門家を講師としてお迎えし、環境問題の現状や持続可能な社会を実現するための法制度と実践的な取組みについて講義していただきました。また、愛知学院大学法学部の教員が、初回と最終回の講義を担当し、各回の講義やディスカッションをファシリテートしました。この講座では専門講師と法学部教員が協力して、環境と法に関わる実践知識と理論知識を提供しました。

## 愛知淑徳大学連携講座 「ビジネスプランニング入門」

2025年10月1日(水)～2025年11月5日(水) 150名(全3回)

【会場】愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

【講師】浅井 怜衣氏(愛知淑徳大学)、松井 宏樹(名古屋市環境局環境企画課 課長補佐(SDGsまちづくりの推進担当))

SDGsの概要や名古屋市が取り組んでいる事例となごや環境大学の概要、共有講座の目的、組み立て方を講義した後、学生に共有講座を企画してもらいました。学生がパワーポイントを使用して行った中間発表と最終発表に対してコメントと評価をしました。学生自身が環境に関わる講座を考えることにより、現在問題となっている環境負荷や環境問題を自分ごととしてとらえる機会となりました。

## 第20回 持続可能な明日をめざすシンポジウム 「いのちつながる街づくり・担い手づくり」

2025年11月18日(火) 170名  
 【会場】名古屋市公館 1階レセプションホール  
 【司会】加藤 愛氏(フリーアナウンサー)  
 【開会挨拶】市橋 和宜(「なごや環境大学」実行委員会事務局 事務局長/名古屋市環境局局付担当部長)  
 【登壇者】福和 伸夫氏(名古屋大学 名誉教授)、藤田 一作氏(愛知県環境局地球温暖化対策課計画推進グループ 課長補佐)、木綿 愛子(名古屋市環境局環境企画部環境企画課 課長補佐)、中嶋 耀大氏(徳倉建設株式会社技術本部建設 DX 部)  
 【主催】一般社団法人愛知県建設業協会  
 【共催】「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市、名古屋商工会議所、一般社団法人愛知県建設業協会、東日本建設業保証株式会社  
 【後援】国土交通省中部地方整備局、環境省中部地方環境事務所、愛知県、環境パートナーシップ・CLUB、株式会社日刊建設工業新聞社名古屋支社、株式会社日刊建設通信新聞社中部支社



20年目を迎えた今回のシンポジウムでは「みんなで備えて、安全安心なまちづくり」をテーマに専門家による基調講演や行政機関、事業者、そして未来を担う子どもたちがそれぞれの取組みを発表し、世代や立場を超えて持続可能な社会の実現について考える場となりました。

## どうする？ なごやの脱炭素？！

2026年1月10日(土) 24名

(一社)環境政策対話研究所と共催で神奈川県における「気候市民会議」報告を受け、東海地域で「市民の意思による脱炭素づくり」をどう進めるかについて意見を交わしました。



## SDGs 推進にむけての協働型の しくみづくりに関する自治体ミーティング 2025

2026年1月23日(金) 18自治体・20名

【会場】エコパルなごや  
 【コーディネーター】千頭 聡氏(日本福祉大学国際学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員)  
 松本イズミ氏(NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員)

持続可能な社会を目指すため、各地域での施策・事業の運用を考える機会とすると同時に、時流に沿った事例発表や話題提供を通して、課題共有や意見交換を図り、自治体間のネットワークづくりを推し進めました。今年度は、ゼロカーボンやSDGsの推進において避けて通れない「廃棄物処理」をテーマに、自治体の取組み発表の他、「資源ごみの持ち去り対策」「事業系ごみ問題」「処理困難物」という3つのテーマで意見交換を図りました。



## 20th Anniversary Party 「みんなでつくるなごやの未来」

2026年3月21日(土) 62名

【会場】名古屋市公館 レセプションホール

開講から20年間の成果や変化を共有し、これからのなごや環境大学の役割、機能、実施すべき事業を持ち寄るPARTYを開催しました。前半ではこれまでなごや環境大学に関わっていただいた個人や団体の活動紹介を行い、パーティで親交を深めたのち、参加者一人一人が発表者への応援メッセージを届けました。提供する料理は地産地消やオーガニック食材などを取り入れたなごや環境大学らしいメニューとなりました。最後に、なごやの未来をどうしたいか各自が思いを形にし、記念撮影を行いました。



## 五箇先生と考える！生物多様性とことんトーク

2026年3月28日(土) 114名

【会場】伏見ライブプラザ 14階

【講師】五箇 公一氏(国立環境研究所 生物多様性領域(生態リスク評価・対策研究室)/特命研究員)

【後援】環境省中部地方環境事務所

国立環境研究所ならではの最新の研究情報とサブカルチャーを結びつけながら、生物多様性についてお話いただきました。また、会場からの質問に答える対話形式でも行い、幅広い年齢層に生物多様性との向き合い方を考えてもらえる機会となりました。





## 地域で取り組むローカルSDGsプロジェクト

地域で取り組むローカルSDGsプロジェクトを星ヶ丘地区で実施。地域特性を活かして環境・経済・社会の3側面が連携する意味と意義の見える化、農・福祉・ビジネスの視点を入れて、SDGsの概念を地域レベルで具現化することを目指し、星ヶ丘テラスおよび愛知淑徳大学CCCと検討を重ね、星ヶ丘テラスにおけるフルールマルシェにおいてアンケートを実施するとともに、椋山女学園大学経営学部を受講生に協力いただき、同様にアンケートを実施して星ヶ丘地区の魅力について分析を行った。

【プロジェクトリーダー/メンバー】千頭 聡氏（日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員）/杉野 友昭氏（片平学区連絡協議会 会長）、松本 イズミ氏（NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員）

### ・星ヶ丘ポタジェフルールマルシェ

2025年5月3日（土）200名  
【会場】星ヶ丘テラス



## SDGs人づくりプロジェクト

2020年度・2021年度に作成したSDGs学習プログラムを活用したプロジェクトを展開しました。

### ・なごやSDGsフィールドスタンプラリー

2025年7月19日（土）～2025年8月31日（日）3,453名（景品交換者）  
【会場】名古屋市近隣施設 26か所、図書館 21か所

SDGsの取り組みについて学べる施設「SDGsフィールド」と連携し、夏休みにスタンプラリーを開催しました。

### ・SDGs学習ツールの貸出

SDGsを楽しく学べる「かるた」と「すごろく」の貸出を行いました。市内外の教育機関やNPO法人、企業等から依頼があり、授業やイベント、研修などで活用されています。

## なごや環境大学SDGsアソシエイト企画

### スクリーンから始まる共創

2025年11月1日（土）169名

なごや環境大学20周年と愛知学院大学150周年を記念した「スクリーンから始まる共創」は、事務局とアソシエイトによる連携プロジェクトです。初の試みとして民間企業からの協賛を募り、参加費無料を実現。当日は映画『2040 地球再生のビジョン』の上映に加え、トークセッションではポストSDGsの課題を議論しました。最後に飲食を伴う自由交流会も行われ、産学官民がリラックスした雰囲気で行ったつながりを築く「共創」の場となりました。



映画上映から産学官民の連携を

### ガラスアートでアップサイクル

2026年3月14日（土）23名

SDGs普及啓発教育プログラムを修了し、なごや環境大学SDGsアソシエイトの任命を受けた第三期生の有志が講座を企画・開催しました。SDGsについての話や、使い終わったガラス瓶に模様を入れて素敵に生まれ変わらせるワークショップを通じ、環境を考える楽しい時間となりました。



## 森林プロジェクト

### 山の社会見学

2025年5月10日（土）～2026年3月8日（日）80名（全7回）

岐阜県美濃市・関市の山林を舞台に、間伐見学や植樹、木工、草木染め等の体験を通じ、森林保全の重要性と山の恵みを多角的に伝えました。現地の専門家による指導のもと、花炭づくりやバードウォッチング等の実践的な活動を行い、参加者が山に関わる仕事や自然環境への理解を深める機会を創出しました。一連の講座を通じ、森林の適切な管理と活用が持続可能な社会に果たす役割を、世代を超えて共有することができました。



### 森イキ！スキルアップ講座

2026年2月21日（土）19名

【会場】戸田川緑地  
【講師】柳沢 直氏（岐阜県立森林文化アカデミー）  
【共催】（公財）名古屋市みどりの協会  
【協力】なごや森づくりパートナーシップ連絡会

「戸田川みどりの夢くらぶ」の大野氏より戸田川緑地の成り立ちについて説明を受けた後、柳沢講師から森林調査の目的や手法について講義が行われました。さらに、毎木調査の実習を通じて、森林の状態を把握する方法を学び、調査結果から環境の状況を読み取る力を養う機会となりました。





## なごや環境大学の歩み

### 前史・第1期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：「脱レジ袋宣言」を発表 11月：第1回エコ事業所の認定 藤前干潟がラムサール条約に登録	2002年度	1月 名古屋市長年頭記者会見で構想発表 3月 基本構想検討委員会を発足
10月：レジ袋削減に向けた市内共通還元制度「エコクーびよん」を開始(～平成21年3月)	2003年度	10月 基本構想を策定・公表 3月 市民講座企画づくりワークショップを開催
 プレシンポジウム	2004年度	4月 実行委員会を発足 8月 2005年度共育講座公募 11月 プレシンポジウム「市民と行政の協働を考える」を開催 12月 プレ講座「環境首都をめざしたまちづくり」を開講
8月：リユースカップ事業を開始 広小路夏まつり会場で打ち水を実施 2月：京都議定書の発効 3月：「なごやエコキッズ」213園・「なごやスクールISO」153校を認定 「愛・地球博」開幕	2005年度	2月 共育講座企画運営団体（市民団体・企業）との交流を開催 「環境ハンドブック2005」を発行 3月 開講式&記念シンポジウムを開催
6月：環境デーなごや2005「もういちど！大作戦」を実施 7月：愛・地球博ささしまサテライト会場ほか市内51箇所打ち水を実施(～9月) 11月：EXPO エコマネーセンターがアスナル金山に開設	2005年度	4月 共育講座開始(2005年度88講座・476回) 7月 シンポジウム2005「環境時代と大学・地域・市民」を開催 10月 まちづくりシンポジウム「次世代につなぐ環境首都をめざして」を開催 3月 なごや環境大学平成17年度活動報告会を開催
8月：なごや循環型社会・しみん提案会議発足 1月：中区栄において都心と郊外のCO <sub>2</sub> 濃度の比較表示を開始 2月：エコマネーサテライト開設(名古屋環境学習センター／名古屋市リサイクル推進センター) 3月：「国際市長会議一都市と生物多様性」(ブラジル・クリチバ)出席	2006年度	4月 共育講座開始(2006年度110講座・574回) 9月 環境デーなごや「なごや環境大学のひろば」開催開始 10月 「上流・下流のつながり」を開催 2月 「地球温暖化の真実」を開催
6月：生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)誘致委員会設立 9月：なごや循環型社会・しみん提案会議が「しみん提案」発表 10月：緑区にて「レジ袋有料化促進モデル事業」開始 11月：IPCC第4次評価報告書統合報告書の公表 3月：名古屋市バイオマスタウン構想を策定	2007年度	4月 なごや環境大学学生チーム「エコネクスなごや」発足 共育講座開始(2007年度133講座・616回) 10月 東山新池かいぼりプロジェクト(なごや環境学・番外編)「1021新池かいぼり大作戦」を開催(21日) 11月 なごや環境大学「第2期ビジョン」を策定 2月 環境ハンドブック改訂版「なごや環境ハンドブック」発行 3月 2008愛知環境賞「中日新聞社賞」受賞 「あいちモリコロ基金」(2008年度大規模活動)助成決定



## なごや環境大学の歩み

### 第2期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：第4次一般廃棄物処理基本計画を策定 7月：第1回「脱温暖化2050なごや戦略」策定検討会開催 9月：「第16回アジア太平洋環境会議」を開催 12月：化学繊維・人工皮革・ゴムを不燃ごみから可燃ごみへ区分変更「エコドライブマイスター認定制度」を開始 2月：「『ごみ非常事態宣言』10周年シンポジウム～ごみ減量のこれまで、これから～」開催 3月：「水の環復活2050なごや戦略」策定	2008年度	4月 共育講座開始（2008年度 138講座・567回） 5月 「しみん提案」の実現を目指す「循環型社会推進チーム」発足 9月 エコアジア2008（プレCOP10）開催記念環境シンポジウム開催 12月 エコネクスなごやが全国大学生環境活動コンテスト（エココン2008）「グランプリ・環境大臣賞」受賞 3月 「あいちモリコロ基金」（平成21年度大規模活動）助成決定
4月：レジ袋有料化全市拡大 11月：「生物多様性自治体会議2009」開催 「低炭素都市2050なごや戦略」策定 3月：「名古屋市版レッドリスト2010」公表 「生物多様性なごや戦略」策定	2009年度	4月 共育講座開始（2009年度 152講座・674回） 6月 「地方の元気再生事業」採択 8月 「藤原紀香『Smile Please!』」トークショー&写真展開催 9月 環境デーなごや「生物多様性パーク」開催 1月 「エコシティ・サミット～市民はいかに動いたか～」開催
5月：URBIO2010（都市における生物多様性とデザイン国際会議）開催 10月：「カルタヘナ議定書第5回締約国会議（COP-MOP5）」開催 「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」開催 「生物多様性国際自治体会議」開催	2010年度	共育講座開始（2010年度 173講座・727回） 4月 中日新聞社共催「ビバちぎゅうきょうしつ」第1回「生命を育む海」開催 5月 生物多様性連携プロジェクト発足 9月 「生物多様性屋台村 いのちの恵みを『いただきま～す』」出展 10月 「生物多様性交流フェア」出展 2月 「生物多様性あふれるまち・なごやに100人ワークショップ～COP10から始めよう～」開催 3月 「南極料理人西村淳さんによる“究極のエコライフ”」開催
 <p>交流フェアブース</p>		
4月：プラスチック製品を不燃ごみから可燃ごみへ区分変更 9月：市役所などに電気自動車を導入 「なごや生物多様性センター」を設立 「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合が2014年に愛知県名古屋市で開催されることが決定	2011年度	4月 共育講座開始（2011年度 161講座・663回） 5月 地球環境学第1回公開講座「映画『THE AGE OF STUPID』上映会+トークライブ」開催 9月 環境デーなごや「つくる・育てる・楽しむプロジェクト」として衣食住をテーマとした3ブースを出展 10月 名古屋市教育委員会共催「環境未来探検隊」体験活動開催 「COP10 1周年記念シンポジウム～都市インフラとしての自然を考える～」開催 11月 東日本大震災を受け、防災関連講座「なごや環境学2011～リスク管理とまちづくり～」を開催 なごや環境大学「第3期ビジョン」を策定 12月 「Winter Concert 2011～宇宙からみた地球環境、森林の大切さを感じる音楽会～」開催 3月 「新しい公共支援事業基金」（2012年度活動）助成決定
 <p>なごや環境学 2011</p>		



# なごや環境大学の歩み

## 第3期・第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立 7月：「名古屋市集団回収における古紙の持ち去り防止に関する条例」施行 10月：バイオディーゼルの燃料化モデル事業を全市で実施	2012年度	4月 特定の環境テーマで、調査・研究・社会実験等を行う「共育ゼミナール」を開始（4団体） 共育講座・ゼミナール開始（2012年度 158 講座・601 回） 9月 環境デーなごや 2012 中央行事で名古屋市と協力し、「持続発展共育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向けた特別企画を開催
4月：リサイクル推進センター閉館に伴い、環境学習センターにおいて一部機能継承 1月：ESD イヤーキックオフイベント開催 2月：小型家電リサイクル開始	2013年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2013年度 143 講座・568 回） 5月 子どもたちが主役のESDワークショップ「命が大切にされる未来を創るんだ」開催（5～11月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2013 中央行事」に参画 12月 「Winter Concert2013 ～愛と音楽は未来への懸け橋を創る～」開催
6月：「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」開催 11月：「ESD シンポジウム」開催 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催 2月：「低炭素モデル地区事業」2地区を認定	2014年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2014年度 159 講座・591 回） 5月 いのちつながるESDワークショップ2014開催（5～9月・全5回） 6月 「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」に参画 9月 「環境デーなごや 2014 中央行事」に参画 11月 「ESD ユネスコ世界会議併催イベント」に参画 3月 10周年事業 オープンキャンパス！開催 「リソースマッチングプレゼン大会」開催
5月：第二処分場の開設 12月：国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」を採択 3月：「なごや環境学習プラン」策定 第5次一般廃棄物処理基本計画策定	2015年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2015年度 154 講座・574 回） 8月 名古屋気温測定調査 2015 実施（市内 165 地点） 9月 「環境デーなごや 2015 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10周年記念コンサート with ブランタン管弦楽団「未来を創るチカラ～つながるエコひろがるハッピー～」開催 10周年記念シンポジウム「未来を創るチカラ～人とまち～」開催 「協働型環境学習のしくみづくりに関する自治体ミーティング」開催
 <p>10周年記念シンポジウム</p>	2016年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2016年度 147 講座・564 回） 6月 「みんなで歩く ワクワクなごや」開催（6～12月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2016 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 持続可能な明日をめざすシンポジウム「いのちつながる街づくり担い手づくり」開催 12月 「エコプロ 2016 ～環境とエネルギーの未来展～」に参画 3月 「春のオープンカフェ at テレビ塔」開催
10月：スプレー缶類の排出方法を穴あけ不要に変更 災害廃棄物処理計画策定 11月：平成28年度水銀添加廃製品回収促進業務（環境省モデル事業）を実施	2017年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2017年度 143 講座・455 回） 5月 第4期ビジョン策定 9月 「環境デーなごや 2017 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 名古屋外国語大学との連携に関する協定書締結 11月 「ウィンターコンサート 2017 ～音楽でつながろう！みんな地球市民～」開催 1月 「みんなで防災・減災を考え行動しよう！！～持続可能な社会づくりのために～」開催 2月 3月 「オープンキャンパス at 名城公園 tonarino」開催
 <p>エコプロ 2016</p>	2017年度	
10月：蛍光管・水銀体温計等の拠点回収を開始 3月：「低炭素都市なごや戦略第2次実行計画」策定	2017年度	
 <p>オープンキャンパス</p>	2017年度	

# なごや環境大学の歩み

## 第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
<p>5月：名古屋市環境学習センター「エコバルなごや」リニューアルオープン 2月：ごみ非常事態宣言から20年を記念した式典を開催</p>  <p>なごやのみらい Open Together !</p>	<p><b>2018年度</b></p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2018年度 173講座・483回) 5月 愛知学院大学との連携協定締結 9月 「環境デーなごや2018中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10月 「なごやのジレンマ!名古屋市北エリアを例に考える持続可能なまち・人・仕事?いや生活!」開催 11月 ユース主催講座「自然栽培を知ろう!~おいしいやさいはどんな味?~」開催 1月 豊かさを考えるSDGs映画会&amp;トーク開催 2月 ごみ非常事態宣言20周年記念イベント「なごやのみらい Open Together!」開催</p>
<p>7月：名古屋市が「SDGs未来都市」に選定 1月：「未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレー キックオフイベント」~あいち・なごや生物多様性EXPO~開催 3月：南陽工場を休止</p>	<p><b>2019年度</b></p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2019年度 147講座・525回) 7月 「お買い物からSDGsを知る!「環境白書から実践へ」」開催 8月 森イキ!デザインプロジェクト開始 9月 「環境デーなごや2019中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 「なごやの環境平成史」開催 (11月~2月・全4回) 1月 SDGsに向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング</p>
<p>6月：富田工場、北名古屋市で工場完成 9月：ウェブサイト上で、「おうちで環境デーなごや2020」実施</p>  <p>池上先生と学ぶSDGsの現在</p>	<p><b>2020年度</b></p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2020年度 98講座・497回) 6月 SDGs未来創造クラブ まちづくり・人づくりプロジェクト開始 オンラインセミナー 生物多様性とサブカルチャーの世界 7月 環境白書から実践へ2020~SDGs17の目標その先へ!~SDGsオンラインセミナー2030年の先をみつめる人々 (10~2月・全10回) 10月 森イキ!デザインプロジェクト2019年度成果発表会 in 設楽町 1月 SDGsに向けての協働型のしくみづくり自治体ミーティング2020 11月 「みちにな SDGsマルシェ」開催 12月 ウェブサイト「なごやSDGs街(マーチ)」オープン 3月 池上先生と学ぶSDGsの現在 in なごや</p>
<p>9月：第4次名古屋環境基本計画を策定 1月：「なごや生物多様性センター 設立10周年記念シンポジウム」開催</p>	<p><b>2021年度</b></p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2021年度 122講座・446回) 企業向けSDGsオンラインセミナー「SDGs実践企業から学ぶ」始動 (5~2月・全9回) 5月 森イキ!プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動 (5~3月・全9回) 7月 環境白書からSDGs実践へ2021オンラインセミナー 地域が輝くローカルSDGs~参画への処方~ 10月 YouTu部(仮)始動 (10~3月・全7回) 11月 「みちにな SDGsマルシェ」開催 1月 「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくり自治体ミーティング2021」実施 2月 「なごや環境大学SDGs未来創造クラブシンポジウム 持続可能なまちの実現に向けて」実施 3月 なごや環境大学ウェブサイトリニューアルオープン 「What'sNKD?なごや環境大学表紙デザイン展」開催</p>
<p>11月：「藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念 藤前干潟ふれあいデー2022」開催 12月：「生物多様性国際自治体会議」(カナダ・モントリオール市)出席 3月：名古屋市プラスチック削減指針策定</p>	<p><b>2022年度</b></p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2022年度 139講座・465回) 渋沢栄一の夢とSDGs 開催 SDGsオンラインセミナー「消費者とともに歩く企業」始動 (5~9月・全5回) 5月 森イキ!プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動 (5~3月・全11回) 地球環境学2022 始動 (5~9月・全5回) 8月 片平ローカルSDGsプロジェクト 始動 (8月~) 9月 2022SDGs普及啓発教育プログラム 始動 (9月~1月・全15回) 10月 なごやをささえる環境学 始動 (10~1月・全5回) 12月 なごや水辺・湿地サポーター養成講座 一基礎編 始動 (12月~3月・全4回) 1月 「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング2022」実施</p>



# なごや環境大学の歩み

## 第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
4月：市バスで燃料電池バスの運行を開始 4月：紙製容器包装と雑がみの一括収集を開始 10月：「生物多様性なごや戦略実行計画 2023」策定 10月：「なごやネイチャーポジティブ宣言」表明 3月：「名古屋市地球温暖化対策実行計画 2030」策定 3月：「名古屋市第6次一般廃棄物処理基本計画」策定 3月：「なごや東山の森」の自然共生サイト認定	2023年度	4月 共育講座・セミナー開始 (2023年度 146講座・494回) SDGs 普及啓発教育プログラム 始動 (4月～9月・第2期全15回、第3期全6回) 5月 森イキ！プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動 (5～2月・全8回) 6月 SDGs オンラインセミナー「地域の企業から学ぶ脱炭素」始動 (6～8月・全4回) 「なごや水辺・湿地サポーター養成講座 一実践編」始動 (7月～3月・全8回) 7月 片平学区ローカル SDGs プロジェクトでアルミ缶回収 BOX を設置する社会実験を開始 9月 2023 SDGs 普及啓発プログラム 始動 (9月～1月・全15回) シンポジウム「くらしの中のネイチャーポジティブ」実施 「SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2023」実施 2023年度片平学区ローカル SDGs プロジェクト 全体報告会 実施 「生物多様性とサブカルチャーの世界」実施 「脱炭素ボードゲームで地球温暖化について学ぼう！」実施
4月：プラスチック資源の一括収集を開始 6月：名古屋市役所環境行動計画 2030 の改定 3月：西資源センターを移転改築 3月：水の環復活なごや戦略実行計画 2030 策定 3月：「八竜湿地・金城学院大学の里山」の自然共生サイト認定	2024年度	4月 共育講座・セミナー開始 (2024年度 133講座・458回) 6月 主催講座「フィールド体験& NPO・企業・行政×あなたのSDGs 企画大会！」(①) 実施 10月 パロー株式会社との協力を得て「てまえどり」POP を市内のパロー5店舗の商品陳列棚に配架 同じ地域にある、SDGs 学習を実施している学校の生徒がSDGs に取り組んでいる企業を訪問する「なごや SDGs スタディーツアー」を実施 12月 「SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2024」実施 1月 中高生と考えるごみ出しマナーアッププロジェクトで名古屋国際中学校・高等学校、愛知工科大学外国語学校と協働し、アンケートや出前授業を実施 2月 2023 SDGs 普及啓発プログラムを終了したなごや環境大学 SDGs アソシエイトが企画する講座を実施 3月 ①の受講生であった南山大学 SDGs 普及啓発団体 CLOVER と協働し東山動植物園春祭りで「絶滅危惧種について学ぼう！ エコバッグづくり」を実施
4月：「住宅における太陽光発電設備等の共同購入」の協定締結、事業開始 7月：名古屋市が「ラムサール条約湿地都市」として認証 8月：名古屋 E C O 動物海洋専門学校と名古屋市役所西庁舎生物多様性緑化花壇の協働管理開始 2月：名古屋養蜂組合と名古屋市役所施設における養蜂を開始 3月：なごや環境学習プラン 2030 策定 3月：「猪高緑地 (いたかの森)」の自然共生サイト認定	2025年度	4月 共育講座・セミナー開始 (2025年度 141講座 523回) 8月 ユース提案型 湿地の未来プロジェクト始動 9月 なごや環境大学 20周年&ラムサール条約湿地都市認証記念シンポジウム実施 11月 産官学民4連携SDGs 親交シンポジウム「スクリーンから始まる共創」実施 11月 保健環境委員大会において講演会「100年後の天気予報名古屋こうなる？」を実施 1月 「どうする？なごやの脱炭素?!」実施 1月 「SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2025」実施 3月 20th Anniversary Party「みんなでつくるなごやの未来」実施 3月 「五箇先生と考える！生物多様性とことんトーク」実施

# なごや環境大学協力者一覧

## 市民・市民団体

eye opener

愛知からフェアトレードの輪をつなげる会

あいち森林インストラクター会

特定非営利活動法人えこども

おかえりやさいプロジェクト

NPO 法人 海上の森の会

かすがい里山自然楽校

唐草ナレッジ

川ナビ歩こう会

環境カウンセラー岡本明子

NPO 法人環境ボランティアサークル  
亀の子隊

特定非営利活動法人芸術の広場ももなも

劇団シンデレラ

CE技術の会

一般社団法人 ソダテル・メソッド

名東自然倶楽部（自然観察グループ）

NPO チームばんどり

一般社団法人地球倶楽部

チャイルドケアプラス

地球エコ防衛隊

手あみ生涯学習ぐるーぷ

NPO 東海自然学園

東谷山ニホンミツバチの会

なごや環境サポーターネットワーク

なごや環境塾どんぐりころころグループ

なごや環境サポーターネットワーク中部

名古屋ながかわ

災害ボランティアネットワーク

なごやネイチャーゲームの会

なごやの生き物調査の会

公益社団法人日本技術士会中部本部登録  
倫理実践力開発普及会

公益社団法人日本山岳会東海支部・  
猿投の森づくりの会

中部 日本みつばちの会

ノートルモンド名古屋

ピオトープ・ネットワーク中部

ひこばえ社中

NPO法人藤前干潟を守る会

プロジェクト・ヴィーノ

NPO法人

「みたけ・500万人の木曾川水トラスト」

未来につなげる・東海ネット

市民放射能測定センター（略称：C ラボ）

モノサシなごや  
（都市の自然のモノサシ研究会）

守山リス研究会

特定非営利活動法人  
教育 NPO 母りん子

山崎川グリーンマップ

よみがえれ長良川実行委員会

りとるらぼ

レイチェル・カーソン日本協会  
東海フォーラム

わくわくハーブプロジェクト

歴史の里マイスターの会

## 企業・事業者

愛知株式会社

一般社団法人愛知県建設業協会

株式会社お豆腐工房いしかわ  
とうふや豆蔵

愛知県古紙協同組合

愛知県再生資源団体連合会

公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会

アクティオ株式会社 名古屋営業所

株式会社アビツ

株式会社エステム

株式会社折兼

グリーンサイクル株式会社

株式会社加藤建設

一般社団法人環境政策対話研究所

株式会社熊谷組

株式会社サンゲツ

株式会社向天堂

株式会社大嗣

社会福祉法人 tomoni+

公益財団法人ちゅうでん教育振興財団

昭和土木株式会社

株式会社地域環境計画

中部リサイクル株式会社

東谷山フルーツパーク

東邦ガス株式会社

戸田川緑地管理センター

戸田建設株式会社名古屋支店

中日本高速道路株式会社名古屋支社

一般社団法人名古屋建設業協会

名古屋市みどりが丘公園

prana

マザーハウス星が丘テラス店

株式会社マルワ

株式会社山田組

## 大学・行政・その他

愛知学院大学

愛知工科大学外国語学校

愛知淑徳大学

イーブルなごや（名古屋市女性会館）

多治見市諏訪町

中部大学

名古屋市愛岐処分場

名古屋市熱田生涯学習センター

名古屋市環境学習センター  
（エコバルなごや）

名古屋市環境局脱炭素社会推進課

名古屋市環境局環境企画課

名古屋市環境局なごや生物多様性センター

名古屋市環境局地域環境対策課

名古屋市北生涯学習センター

名古屋市上下水道局調査課  
水の歴史資料館

名古屋市昭和生涯学習センター

名古屋市千種生涯学習センター

名古屋市天白生涯学習センター

名古屋市中川生涯学習センター

名古屋市中生涯学習センター

名古屋市中村生涯学習センター

名古屋市西生涯学習センター

名古屋市東生涯学習センター

名古屋市瑞穂生涯学習センター

名古屋市緑生涯学習センター

名古屋市港生涯学習センター

名古屋市南生涯学習センター

名古屋市名東生涯学習センター

名古屋市守山生涯学習センター

名古屋市立植田北小学校

名古屋市立植田南小学校

名古屋市立南押切小学校

名古屋市立筒井小学校

名古屋市立星が丘小学校

名古屋市立工芸高等学校 建築システム化

# 「なごや環境大学」実行委員会

(敬称略・2026年2月1日現在)

名誉委員長	広沢 一郎	名古屋市長
委員長	杉野 みどり	名古屋市副市長
学長	水野 明久	一般社団法人中部経済連合会 特別顧問
委員	伊藤 和子	名古屋市地域女性団体連絡協議会 会長
	草川 稔	名古屋市保健環境委員会 会長
	山本 秀雄	名古屋市区政協力委員議長協議会 議長
	小坂 信之	環境パートナーシップ・CLUB 総合事務局長
	坪井 清滋	名古屋市商店街振興組合連合会 理事長
	鵜飼 宏成	名古屋市立大学高等教育院 教授
	大鹿 聖公	愛知教育大学教育学部 教授
	岸田 眞代	岸田パートナーシップ研究所 代表
	九里 徳泰	実践女子大学国際学部 教授
	新海 洋子	一般社団法人SDGs コミュニティ 代表理事
	杉野 実	M <sup>1</sup> _Project デザインプロデューサー
	鈴木 慎太郎	愛知学院大学法学部 教授
	千頭 聡	日本福祉大学国際学部 特任教授
	長谷川 明子	ビオトープ・ネットワーク中部 会長
	前田 洋枝	南山大学総合政策学部 教授
	松本 イズミ	NPO フィトラボ 代表
	横山 陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構経営学部 客員教授
	舘 雄聡	名古屋市総務局 担当局長 (企画調整)
	嶋 久美子	名古屋市環境局 担当局長 (環境都市推進)
	櫻井 瑞郎	名古屋市教育委員会事務局 教育次長
	市橋 和宜	「なごや環境大学」実行委員会 事務局長
監事	加藤 明司	公認会計士
	二谷 康之	名古屋市会計室 会計課長
参与	白木 隆光	名古屋商工会議所 産業振興部長
	根本 恵司	一般社団法人中部経済連合会 常務理事 価値創造本部長
	香坂 玲	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	穂苅 秀一	農林水産省東海農政局生産部 環境・技術課長
	二ノ宮 久尚	経済産業省中部経済産業局資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課長
	吉田 光則	国土交通省中部地方整備局企画部 環境調整官
	小松田 始	国土交通省中部運輸局交通政策部 次長
	猪岡 貴光	環境省中部地方環境事務所 環境対策課長
	西川 祐司	愛知県環境局環境政策部 環境活動推進課長

発行 「なごや環境大学」実行委員会  
発行年月 2026年5月

問い合わせ先 「なごや環境大学」実行委員会 事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階  
(名古屋市環境学習センター エコパルなごや内)

TEL・FAX 052-223-1223 Eメール jimmu@n-kd.jp

ウェブサイト <https://www.n-kd.jp>

